環境庁委託

第4回自然環境保全基礎調査

巨樹・巨木林調査 報告書

(概要版)

1990年

千代田デイムズ・アンド・ムーア株式会社

はじめに

悠久の時によって育まれた巨樹・巨木林は、わが国の森林、樹木の象徴的存在であり、良好な景観を形成したり、野生鳥獣の営巣の場となるなど、自然環境上重要な価値を有するばかりでなく、年輪等に過去の気候や環境の状況を記録していることから、古気象等の研究素材としての学術的価値も大きいといえる。さらに巨樹・巨木林は古くから信仰の対象になったり、あるいは地域のシンボルとして人々にやすらぎと潤いを与えてきた。

しかしながら、このように自然と生活を豊かにする上でかけがえのない価値を有する巨樹・巨木林の全国的な実態は十分には把握されておらず、多くの巨樹があまり知られないままに失われているようである。このため、昭和６３年度に、第４回自然環境保全基礎調査（緑の国勢調査）の一環として、巨樹・巨木林の現況調査が実施された。この報告書は、全国47都道府県の調査結果に基づいてわが国の巨樹・巨木林の現況を報告することを目的として、平成元年度、環境庁 自然保護局から 千代田デイムス・アンド・ムーア株式会社に委託され実施した全国集計解析業務の実施結果（『巨樹・巨木林調査報告書(全国版)』）の概要をとりまとめたものである。

この場所を借りて、全国の関係者各位の多大なるご協力に深く感謝の意を表します。

平成２年３月

千代田デイムス・アンド・ムーア株式会社

目　次

頁

はじめに

Ⅰ.巨樹・巨木林調査の概要 ………………………… 1
　1.調査目的 ………………………… 1
　2.調査内容 ………………………… 1

Ⅱ.調査結果 ………………………… 4
　1.項目別集計結果 ………………………… 4
　　1.1 基礎的項目 ………………………… 4
　　1.2 生態的項目 ………………………… 9
　　1.3 人文的項目 ………………………… 12
　　1.4 保護の項目 ………………………… 15
　　1.5 その他の項目 ………………………… 16
　2.項目間集計結果 ………………………… 17
　3.解析結果 ………………………… 19
　　3.1 巨樹・巨木林を取りまく環境特性 ………………………… 19
　　3.2 巨樹・巨木林の分布特性 ………………………… 21
　　3.3 巨樹・巨木林と人との関わり ………………………… 43
　4.総括 ………………………… 45

Ⅰ.巨樹・巨木林調査の概要

1.1 調査目的

悠久の時によって育まれた巨樹・巨木林は、わが国の森林・樹木の象徴的存在であり、良好な景観の形成や野生動物の生息環境、地域のシンボルとして人々の心のよりどころとなるなど、生活と自然を豊かにする上でかけがえのない価値を有している。しかし、その全国的な実態は十分には把握されておらず、多くの巨木があまり知られずに失われつつある。

そのような中、環境保全長期構想（昭和61年12月 環境庁）において『悠久の歴史を刻む巨木を有し、多くの野性生物の生息地として重要であるなど自然環境保全機能が重視される森林については、新たな保護の在り方を検討する。』とされたほか、第４次全国総合開発計画（昭和62年6月　国土庁）においても『国民と歴史的時間を共有する悠久の象徴である巨木のうち学術上・文化上・教育上価値の高いものについては、子孫に引き継ぐストックとして適切な保全、整備を図る。』ことが計画に盛り込まれるなど、巨樹・巨木林に着目した自然環境保全施策の推進の必要性について指摘されてきたところである。

このため、第４回自然環境保全基礎調査（緑の国勢調査）の一環として昭和63年度に全国の巨樹・巨木林の現況調査が実施され、都道府県単位での巨樹・巨木林の調査結果が報告された。

本調査は上記調査結果を整理してデータベース化し、全国的なレベルで巨樹・巨木林の現況について集計・解析を行なうことによって、わが国の巨樹・巨木林の現況を把握し、もって自然環境保全施策の立案に資することを目的とするものである。

1.2 調査内容

調査内容の概要は以下のとおりである。

(1) 調査対象：次の調査対象基準に該当する樹木又は樹林。

①調査対象基準

「地上から約130ｃｍの位置での幹周（囲）が300ｃｍ以上の樹木。なお、地上から約130ｃｍの位置において幹が複数に分かれている場合には、個々の幹の幹周の合計が300ｃｍ以上であり、そのうちの主幹の幹周が200ｃｍ以上のものとする。」

なお、調査対象基準に該当する樹木について本調査では「巨木」、または「巨樹」と呼んでいるが、本報告書ではこれを、「巨木」という言い方で基本的に統一している。

②調査対象の類型区分

「単木」：巨木が単体で生育しているもの。
これには、巨木の周囲には他に樹木が生育していない場合と、周囲にも樹木が生育しているが、これら周囲一帯には調査対象基準以上の樹木がない場合とがある。

「樹林」：巨木及びこれに準ずる樹木が複数生育しており、面的な広がりをもつもの（社叢等小規模のものも含む）。

「並木」：巨木及びこれに準ずる樹木が複数生育しているもののうち並木をなしているもの。

なお、本報告書ではこれらの「樹林」及び「並木」を併せて「巨木林」と呼ぶこととした。また、報告書の中で使用している「林木」という言葉は、「巨木林」に属する巨木を意味しており、「単木」と区別する意味で用いている。

(2) 調査項目

①基礎的項目　：ｱ.位置　ｲ.単木・樹林・並木の別　ｳ.所有者（管理者）
ｴ.樹齢　ｵ.林内の巨木本数
ｶ.巨木測定値（樹種名、幹周、樹高、枝張、株立状況）

②生態的項目　：ｱ.周囲の状況　ｲ.根元の状況　ｳ.欠損の状況　ｴ.動物生息の有無
ｵ.着生植物等の状況　ｶ.健全度

③人文的項目　：ｱ.信仰対象の有無　ｲ.独特の呼称・名称の有無　ｳ.故事・伝承の有無
ｴ.視認性　ｵ.直接利用状況

④保護の項目　：ｱ.保護制度指定状況　ｲ.解説板等の有無

⑤その他の項目：ｱ.特記事項（保護対策事例等）

(3) 実施方法

①昭和63年度調査（全国調査）

調査は、環境庁が各都道府県に委託して実施したもので、調査要綱に基づき文献調査、現地調査等を行ったもの。

しかし、山間部の調査は悉皆的に行っていないこと、及び各都道府県の調査密度は既存データの有無等により差があることに留意する必要がある。

②平成元年度調査（情報処理業務）

巨樹・巨木林調査情報処理業務は、各都道府県の調査の結果得られた巨樹・巨木林調査票（調査表の様式については次頁のとおり）及び分布図によって得られたデータについて基礎的な集計を行い、わが国の巨樹・巨木林の分布状況、あるいは保護制度等、人との関わり等の実態について現況を把握しようとしたもの。

巨樹・巨木林調査票

コード番号 [ ][ ] － [ ] － [／]

部道府県コード　市町村コード　対照コード　調査票番号（巨木林）

調査者名（　　　　　　　　）

所　　属（　　　　　　　　　　）

分　類	項　目	回　答　内　容	回答番号欄
基礎的項目	巨木（林）の位置	（　　　）県（　　　）郡市（　　　）町（通称名　　　　）	
	単木・樹林の別	1. 単木　2. 樹林　面積（　　　ha） 3. 並木　延長（　　　m）　列（　　　列）	□
	所有者（管理者）	1. 国　2. 都道府県　3. 市町村　4. その他公有（　　　） 5. 社寺　6. 個人　7. 法人等　8. 不明	□
	樹　齢（林齢）	1. 推定　(a 99年以下　b 100～199年　c 200～299年　d 300年以上 e 不明) 2. 伝承　（　　　）年	□
	林（並木）内の巨木本数	1. 実測　（　　　　）本 2. 推定　（　　　　）本	□
	巨木測定値	（下表）	
生態的項目	周囲の状況 （複数回答）	1. 樹林（a 山林など大面積　b 社叢など小面積）　2. 公園 3. 耕地　4. 建物群　5. 道路　6. 水面 7. その他（　　　　）	(1)□ (2)□ (3)□ (4)□
	根元（林床）の状況 （複数回答）	1. 裸地　2. 草地・地被類　3. 植樹・その他低木生育 4. ササその他やぶ　5. 舗装（a 砂利・砕石　b アスファルト・コンクリート c その他（　　　　））　6. その他（　　　）	(1)□ (2)□ (3)□ (4)□
	巨木の欠損 （単木の場合） （複数回答）	1. 無　2. 大枝枯損　3. 小枝枯損　4. 頭頂部幹折れ 5. 下部幹折れ　6. 空洞あり　7. 異常なコブあり 原因（a 大風　b 落雷　c 積雪　d 病虫害　e その他自然災害 f 人為（剪定等）　g 不明）	欠損□□ 原因□□
	林木の欠損 （巨木林並木の場合，樹林全体） （複数回答）	1. 無 2. 枯損木ややあり　3. 枯損木多い　4. 倒木ややあり　5. 倒木多い 原因（a 大風　b 落雷　c 積雪　d 病虫害　e その他自然災害 f 人為（剪定等）　g 不明）	欠損□□ 原因□□
	動物生息	特記すべき鳥類の生息　1. 無　2. 有　3. 不明 種名（　　　　） 特記すべき獣類の生息　1. 無　2. 有　3. 不明 種名（　　　　）	鳥類□ 獣類□

巨木測定値

樹種名				
樹種コード				
幹周（cm）	（主幹　）	（主幹　）	（主幹　）	（主幹　）
樹高（m）	（1実測・2推定）	（1実測・2推定）	（1実測・2推定）	（1実測・2推定）
枝張（m）	1 東西　3 平行 2 南北　4 垂直	1 東西　3 平行 2 南北　4 垂直	1 東西　3 平行 2 南北　4 垂直	1 東西　3 平行 2 南北　4 垂直
株立状況	本	本	本	本

分　類	項　目	回　答　内　容	回答番号欄
生態的項目	着生植物等	1. 無 2. 有 被度（a ほぼ全体　b 半分位　c 一部分） 種類（a つる性（ツタなど）　b 寄生（ヤドリギなど）　c 着生（コケなど）	有無□ 被度□ 種類□
	巨木（林）の健全度	1. 良 2. 不良（a 枯死寸前　b 一部枯損　c 病虫害　d 異常落葉　e その他）	健全度□
人文的項目	信仰対象等	1. 無 2. 信仰対象あり a 単木が信仰対象（ア 社，ほこら　あり　社寺名（　　　，不明） イ 鳥居あり　ウ しめ縄あり　エ その他（　　　）オ 特になし） b 樹林全体が信仰対象（ア 社，ほこら　あり　社寺名（　　　，不明） イ 鳥居あり　ウ しめ縄あり　エ その他（　　　）オ 特になし） 3. 禁忌（タブー）あり　対象（ア 単木（全体）　イ 幹　ウ 枝　エ 実 オ 樹林全体　カ その他　キ 不明） 概要（　　　　） 4. 祭事あり　概要（　　　　） 5. 不明	有無□（1～5） 内容□ 有無□（2～4） 内容□
	独特の呼称・名称	1. 無　2. 有　a 単木（　　　） b 樹林全体（　　　）　3. 不明	有無□
	故事・伝承	1. 無　2. 有　3. 不明 （概要）a 単木 b 樹林全体	有無□
	視認性	1. 遠方（集落外など）からも目立つ 2. 付近に行けば見える 3. 直前まで見えない	□
	直接利用（樹林）	1. 特になし　2. 木材生産　3. 林産物生産（　　　） 4. その他林木の直接利用（　　　） 5. 観光・レクリエーション・公園（施設　　　） 6. その他（　　　）	(1)□ (2)□ (3)□ (4)□
保護の項目	保護制度指定 （単木○樹林◎）	1. 無 2. 天然記念物等（a 国　b 都道府県　c 市町村） 3. 自然公園（a 国立　b 国定　c 都道府県立） 4. 自然環境保全地域（a 国　b 都道府県） 5. 保安林・学術参考保護等 6. 都市公園（a 国営　b 都道府県　c 市町村） 7. 風致地区・緑地保全地区・都市の美観風致を維持するための保存樹木等 8. その他制度　名　称（　　　） 設置者（a 国　b 都道府県　c 市町村） 内　容（a 指定のみ　b 買上げあり　c 補助・助成あり d その他　e 不明） 名　称（　　　） 設置者（a 国　b 都道府県　c 市町村） 内　容（a 指定のみ　b 買上げあり　c 補助・助成あり d その他　e 不明） 9. 不　明	(1)□ (2)□ (3)□ (4)□
	解説板等の有無	1. 無　2. 樹名板　3. 解説板　4. 石標 5. その他（　　　）	□□
その他の項目	特記事項	1. 無　2. 保護柵設置　3. 避雷針設置　4. 支柱設置 5. 薬剤散布・施肥　6. 定期的な下刈り・清掃 7. 枯損部の削除，枝下ろし　8. 買取運動 9. その他（　　　）	(1)□ (2)□ (3)□ (4)□

（裏面記入　有・無）　（幹周既存データ使用　有・無）　（記入上の注意及び記入欄は裏面

II．調査結果

1．項目別集計結果

1.1 基礎的項目

(1) 巨木の総数

各都道府県毎に類型別（単木、樹林、並木）の報告件数を集計し、さらに、各類型を通して、実測により確認された巨木の総数を測定巨木総数として集計した。

結果を表－1，2に示す。

全国で測定され、報告された巨木の総数は 55,798本であり、巨木の存在が記録された市町村数は全国で 2,819 に及んでいる。

また、各類型別の報告件数と測定本数は、単木：28,800件（28,800本）、樹林：17,199件（25,103本）、並木：1,267件（1,895本）であった。

なお、表－2中には樹林、並木林等における林全体の巨木の推定本数も示した。実際に測定された巨木本数と推定値とを合わせると、わが国の巨木の本数は約124,000本程度かそれ以上と推測されるものの、山間部の巨木数については不明の点も少なくなく今後の情報の蓄積が必要である。

表－1　類型別巨木本数

単木・樹林の区別		
区 分	本	%
単 木	28800	51.6
樹 林	25103	45.0
並 木	1895	3.4
合 計	55798	100.0

表－2から、測定巨木本数が 2,000本を超える県は、茨城県、栃木県、千葉県、新潟県、長野県、静岡県であり、関東地方で測定数の多い県が多い傾向がみられた。

実測された巨木の樹種別の本数を上位５０種について集計した。

その結果を表－3に示す。

実測された巨木のうち最も多かったのはスギであり（13,681本）、次いでケヤキ(8,538本)、クスノキ（5,160本）、イチョウ（4,318本）、スダジイ（3,286本）の順であった。以下、タブノキ、ムクノキ、モミ、エノキ、クロマツ等の樹種があがっている。

表－2　都道府県別巨木本数

都道府県名	全市町村数	巨木有市町村数	単木測定数 本	樹林 件	樹林 測定数 本	並木 件	並木 測定数 本	小計 件	小計 測定数 本	測定巨木総数 本	推定本数 (本)
北海道	212	119	472	147	307	5	9	152	316	788	536
青森	67	54	342	125	216	15	15	140	231	573	557
岩手	62	60	755	652	1024	116	188	768	1212	1967	466
宮城	71	61	476	146	209	72	152	218	361	837	148
秋田	69	45	450	357	461	60	92	417	553	1003	900
山形	44	44	835	234	242	32	36	266	278	1113	1122
福島	90	82	372	131	131	8	8	139	139	511	1016
茨城	88	85	1545	727	1054	60	88	787	1142	2687	706
栃木	49	49	1042	606	1033	27	47	633	1080	2122	11086
群馬	70	70	696	347	569	28	48	375	617	1313	827
埼玉	93	87	1085	238	327	20	37	258	364	1449	100
千葉	80	77	694	900	1433	28	64	928	1497	2191	217
東京	64	62	1078	226	559	12	16	238	575	1653	302
神奈川	37	37	689	8	8	2	2	10	10	699	24415
新潟	112	99	1374	689	1085	73	121	762	1206	2580	1070
富山	35	31	457	283	336	33	61	316	397	854	628
石川	41	41	425	1040	1305	11	17	1051	1322	1747	580
福井	35	34	262	877	1091	9	20	886	1111	1373	933
山梨	64	61	498	436	500	21	21	457	521	1019	282
長野	121	98	920	723	976	76	115	799	1091	2011	1888
岐阜	99	86	663	593	795	33	37	626	832	1495	1036
静岡	75	73	945	633	1244	47	62	680	1306	2251	1072
愛知	88	71	772	84	105	34	38	118	143	915	81
三重	69	65	743	398	402	12	12	410	414	1157	647
滋賀	50	50	389	689	903	42	62	731	965	1354	1329
京都	44	40	243	314	438	12	28	326	466	709	562
大阪	44	35	260	161	185	0	0	161	185	445	228
兵庫	91	84	485	565	881	15	23	580	904	1389	729
奈良	47	42	457	397	592	23	23	420	615	1072	1472
和歌山	50	49	467	391	679	19	35	410	714	1181	1550
鳥取	39	36	426	313	499	27	35	340	534	960	1219
島根	59	56	720	237	584	46	62	283	646	1366	926
岡山	78	46	196	104	111	10	10	114	121	317	40
広島	86	82	681	323	398	32	32	355	430	1111	328
山口	56	53	605	142	167	26	38	168	205	810	80
徳島	50	46	984	53	117	0	0	53	117	1101	
香川	43	39	240	146	286	4	4	150	290	530	250
愛媛	70	52	453	136	232	1	17	137	249	702	90
高知	53	53	383	240	268	11	11	251	279	662	605
福岡	97	66	682	296	527	31	39	327	566	1248	1118
佐賀	49	47	288	371	479	4	4	375	483	771	60
長崎	79	68	714	192	196	39	39	231	235	949	131
熊本	98	83	733	386	462	15	27	401	489	1222	1146
大分	58	52	686	408	625	16	16	424	641	1327	2017
宮崎	44	44	616	343	490	7	7	350	497	1113	480
鹿児島	96	70	275	327	495	44	68	371	563	838	3093
沖縄	53	35	227	65	77	9	9	74	86	313	
合計	3269	2819	28800	17199	25103	1267	1895	18466	26998	55798	68068

表-3 全国の樹種別巨木総数

順位	樹種	本数
1	ｽｷﾞ	13,681
2	ｹﾔｷ	8,538
3	ｸｽﾉｷ	5,160
4	ｲﾁｮｳ	4,318
5	ｽﾀﾞｼﾞｲ	3,286
6	ﾀﾌﾞﾉｷ,ｲﾇｸﾞｽ	1,907
7	ﾑｸﾉｷ	1,465
8	ﾓﾐ	1,364
9	ｴﾉｷ	1,221
10	ｸﾛﾏﾂ,ｵﾏﾂ	933
11	ｶﾔ	854
12	ｱｶﾏﾂ,ﾒﾏﾂ	736
13	ﾋﾉｷ	681
14	ﾐｽﾞﾅﾗ	665
15	ﾄﾁﾉｷ	647
16	ｶﾂﾗ	508
17	ﾌﾞﾅ	504
18	ｲﾁｲｶﾞｼ	420
19	ｼﾗｶｼ	363
20	ｴﾄﾞﾋｶﾞﾝ,ｱｽﾞﾏﾋｶﾞﾝ	323
21	ｱｶｶﾞｼ	296
22	ﾊﾙﾆﾚ,ﾆﾚ	292
23	ﾂﾌﾞﾗｼﾞｲ	268
24	ｼｲﾉｷ	244
25	ｻﾜﾗ	240
26	ｱｺｳ	239
27	ﾂｶﾞ,ﾄｶﾞ	236
28	ｲﾇﾏｷ	214
29	ﾎﾙﾄﾉｷ,ﾓｶﾞｼ	204
30	ﾔﾏｻﾞｸﾗ	198
31	ｻｸﾗ	190
32	ｲﾁｲ	190
33	ｳﾗｼﾞﾛｶﾞｼ	187
34	ｸﾛｶﾞﾈﾓﾁ	182
35	ｲﾌﾞｷ,ﾋﾞｬｸｼﾝ	166
36	ｸﾘ	163
37	ｺｳﾔﾏｷ	140
37	ﾔﾏﾓﾓ	140
37	ｶﾞｼﾞｭﾏﾙ	140
40	ｶｼ	139
41	ｾﾝﾀﾞﾝ	138
42	ｱﾗｶｼ	132
43	ｻｲｶﾁ	130
44	ｺﾅﾗ,ﾊﾊｿ	127
45	ﾊﾘｷﾞﾘ,ｾﾝﾉｷ	120
46	ｶｼﾜ	107
47	ﾃﾞｲｺﾞ	100
48	ｼﾀﾞﾚｻﾞｸﾗ	98
48	ｿﾒｲﾖｼﾉ	98
50	ｱﾍﾞﾏｷ	82
	その他の樹種	3,024
合計		55,798

(2) 巨木の大きさ

実測された巨木の胸高直径（株立ちが複数のものは主幹の胸高直径）と、樹高の集計結果を表－４,５に示す。

幹周が実測された巨木のうち、今回報告があった巨木本数は、52,812本であった。そのうち、胸高直径1～2mのものは約５万本で90%が直径２ｍ以下であった。次いで2～3mのものが約２千本、3～4mのものが300本となっており、5m以上のものは19本であった。

また、樹高について今回報告があった巨木本数は、54,539本であり、20～30mのものが約23,240本と最も多く全体の42%を占めている。次いで10～20mのものが約１万６千本、30～40mが約１万本の順である。樹高が４０ｍを越すものは約３千本あり、全体の５％程度である。なお、報告のあった樹高データのうち、約1/4（11,798本）は実際に測定されたデータであるが、残り約3/4（36,304本）については推定によるデータである。

表－４　　　巨木の胸高直径

胸高直径(m)	単木		樹林		並木		合計	
	本	%	本	%	本	%	本	%
１～１.９	25456	88.4	22863	91.1	1743	92.0	50062	89.7
２～２.９	1466	5.1	828	3.3	52	2.7	2346	4.2
３～３.９	243	0.8	93	0.4	1	0.1	337	0.6
４～４.９	33	0.1	15	0.1	0	0.0	48	0.1
５ｍ以上	12	0.04	7	0.03	0	0.0	19	0.03
無回答	1590	5.5	1297	5.2	99	5.2	2986	5.4
合計	28800	100.0	25103	100.0	1895	100.0	55798	100.0

表－５　　　巨木の樹高

樹高(m)	単木		樹林		並木		合計	
	本	%	本	%	本	%	本	%
１０ｍ以下	1177	4.1	394	1.6	49	2.6	1620	2.9
１０～１９	10120	35.1	5341	21.3	431	22.7	15892	28.5
２０～２９	11939	41.5	10574	42.1	734	38.7	23247	41.7
３０～３９	4149	14.4	6284	25.0	513	27.1	10946	19.6
４０～４９	778	2.7	1615	6.4	98	5.2	2491	4.5
５０ｍ以上	125	0.4	206	0.8	12	0.6	343	0.6
無回答	512	1.8	689	2.7	58	3.1	1259	2.3
合計	28800	100.0	25103	100.0	1895	100.0	55798	100.0

各樹種別の幹周の分布をみると、特に幹周の大きな種類としてクスノキ、イチョウ、カツラ、ケヤキ、スギ、トチノキ、及びその他に含まれるガジュマル等があげられる。幹周の分布が幅広い分布型を示しているのはアコウ、カツラであった。

一方、調査の対象となった巨木の推定樹齢を表－６に示した。

表－６から明らかなように、巨木推定樹齢としては　300年以上と推定されているものが35％と最も多く、次いで、200～299年のものが多い。しかしながら、不明あるいは無回答のものも30％程度あり、巨木の樹齢を把握することが困難であることがうかがわれる。

樹種別に推定樹齢の分布をみると、イチイ、カヤ、カツラ、ヒノキは推定樹齢300年以上のものが半数を占めており、他の樹種に比べて特徴的である。

表－６　　巨木の推定樹齢

推定樹齢		
区分	件	％
99年以下	639	1.1
100～199年	6336	11.4
200～299年	10468	18.8
300年以上	19524	35.0
不明	12359	22.1
無回答	6472	11.6
合計	55798	100.0

表－７には調査の対象となった巨木の所有者を示した。巨木の所有者で最も多かったのが寺社で、全体の58％を占めている。次いで多いのが個人の所有で約18％であった。公有の巨木は国、都道府県、市町村及びその他をあわせても全体の16％程度である。

寺社の所有が多いことは、後述の巨木の周囲の状況において社叢林が多いこととも一致しており、巨木の生育する環境として社叢林のように保護された林の存在が重要であることがうかがわれる。

表－７　　巨木の所有者　　（重複回答あり）

所有者（管理者）		
区分	件	％
国	2835	5.1
都道府県	793	1.4
市町村	2739	4.9
その他公有	2440	4.4
寺社	32066	57.5
個人	10003	17.9
法人等	678	1.2
不明	951	1.7
無回答	3478	6.2
合計	55983	

樹種別に所有者の割合をみると、ほとんどの樹種で寺社あるいは個人所有が大半を占めているが、ミズナラとブナについては、国、都道府県等の公有のものが５～７割を占めている点で特徴的である。

1.2 生態的項目

(1) 巨木の周囲の状況

周囲の状況の集計結果を表－８に示す。

巨木の周囲は、樹林が34,633件（62%）と最も多く、次いで建物群12,182件（22%）、道路10,568件（19%）の順である。樹林の内訳をみると、社叢等の小面積のものが24,623件(44%)と多く、山林等大面積の樹林に位置する巨木は9,120件（16%）と少ない。これは、今回調査では比較的人目につきやすい巨木が多く抽出された結果ではないかと思われる。また、社叢林等に巨木が多い結果は、前述のように社叢林といった小面積であっても自然環境が守られた広がりのある場所が巨木の生育環境の多くを占めていることを示しているものと理解できよう。

表－９に根元（林床）の状況の集計結果を示す。

根元（林床）の状況は、裸地が25,521件（46%）と最も多く、次いで草地等が19,735件（35%）、稚樹・低木等が13,430件（24%）の順であり、舗装は4,918件（8.8%）とあまり多くなかった。

表－８　巨木周囲の状況　（重複回答あり）

周囲の状況		
区分	件	%
樹林	34633	62.1
山林等	9120	16.3
社叢等	24623	44.1
公園	2791	5.0
耕地	7655	13.7
建物群	12182	21.8
道路	10568	18.9
水面	1255	2.2
その他	8286	14.8
無回答	3808	6.8
合計	81178	

表－９　巨木の根元（林床）の状況　（重複回答あり）

根元の状況		
区分	件	%
裸地	25521	45.7
草地・地被類	19735	35.4
稚樹・その他低木生育	13430	24.1
ササその他やぶ	8908	16.0
舗装	4918	8.8
砂利・砕石	1155	2.1
アスファルト・コンクリート	1925	3.4
その他	2597	4.7
その他	436	0.8
無回答	4085	7.3
合計	82710	

(2) 巨木の生態的状況

巨樹・巨木林における鳥類あるいは獣類の生息状況の集計結果を表－１０に示す。

鳥類及び獣類の生息状況について生息が有りと報告されているのは、いずれも２～３％と少ない。鳥類や獣類のように移動能力の大きな生物の生息に関しては今回のような１回だけの調査ではなかなか生息状況を把握するまでには到らず、経年的な調査が必要であろう。

表－１１に着生植物等の有無の集計結果を示す。着生殖物等が有ると報告された巨木は、全体の45％と、動物に比べて高い割合を示している。巨木のように年数を経てくるとツタやヤドリギのような着生殖物も多くなることと、動物の生息状況に比べて着生植物等の生息状況は把握し易いことも理由の一つと思われる。

鳥類及び獣類の生息に関して樹種別の特徴は明瞭ではなかった。着生植物の有無については、イチイ、イチョウ、サワラ、マツでは着生植物等が無い割合が高かった（60％以上）。

表－１０　　特記すべき鳥類及び獣類の生息状況

鳥類の生息		
区分	件	%
無し	37762	73.9
有り	2118	3.0
不明	11785	18.7
無回答	4133	4.4
合計	55798	100.0

獣類の生息		
区分	件	%
無し	39115	70.1
有り	1521	2.7
不明	10737	19.2
無回答	4425	7.9
合計	55798	100.0

表－１１　　着生殖物等の有無

着生植物等		
区分	件	%
無し	26591	47.7
有り	24995	44.8
無回答	4212	7.5
合計	55798	100.0

巨樹・巨木林に生息している鳥類あるいは獣類について特に種類名が記入してあったのは、鳥類974件、獣類739件であった。鳥類及び獣類の名前は重複回答であり、個々の種類名を抽出すると、鳥類で記入が多かったのは、フクロウ（213件）、ヒヨドリ（108件）、カラス（91件）、キツツキ（79件）、モズ（54件）、メジロ（50件）、ウグイス（48件）、キジ（47件）、ヤマドリ、スズメ（34件）、及びイヌワシ（25件）等であった。

一方、獣類で多かったのは、ムササビ（287件）、リス（133件）、サル（ニホンザル、ヤクシマザル）（95件）、クマ（86件）、シカ（71件）、カモシカ（55件）、ヘビ（40件）、タヌキ（32件）、イノシシ（25件）、ウサギ（24件）、及びイタチ（20件）等であった。

(3) 巨木の健全性

単木及び林木（注：巨木林及び並木に生育する巨木のここでの呼称）の欠損の状況の集計結果を表－１２,a,b,cに示す。

まず単木についてみると、欠損のない巨木 14,309本に対し、欠損のある巨木は6,237本で欠損のない巨木の方が２倍程度多い。欠損の内訳をみると、小枝枯損が8,061件と最も多く、次いで大枝枯損が 6,620件、空洞ありが 4,043件の順であり、枝の枯損が全体の半分以上を占めていた。欠損の原因は、不明が6,007件と最も多いものの、大風によるもの2,659件、落雷 757件、積雪 710件、病虫害 765件、その他の自然災害が 3,556件となっている。剪定等による人為的な原因も 2,833件と多かった。

次に林木についてみると、欠損のない林木 6,131件に対し、欠損のある林木は 4,052件で、無回答数が多いものの単木に比べると欠損の無いものに対する有るものの比率がかなり大きいことが目立つ。林木の欠損の内訳をみると、枯損木ありが 3,344件と最も多く、第２番目の倒木多いの 352件と比べて、著しく高い値である。林木の欠損の原因は、不明が 1,219件と最も多いが、大風 823件、落雷 262件、積雪 269件、病虫害 337件、その他の自然災害が 1,128件であり、人為的な原因も 448件と多い。

欠損の原因については単木、林木ともその内訳の構成割合が良く似ている。

表－１２　巨木の欠損度（a：単木(左)及びb：林木(右)）

巨木の欠損（単木）		
区分	件	%
無し	14309	49.7
有り	6237	21.7
大枝枯損	6620	17.4
小枝枯損	8061	21.2
頭頂部幹折れ	2575	6.8
下部幹折れ	647	1.7
空洞あり	4043	10.6
異常なコブあり	1408	3.7
無回答	8254	18.0
合計	28800	100.0

林木の欠損（樹林・並木）		
区分	件	%
無し	6131	22.7
有り	4052	15.0
枯損木ややあり	3344	8.8
枯損木多い	331	0.9
倒木ややあり	352	0.9
倒木多い	25	0.1
無回答	16815	62.3
合計	26998	100.0

注）欠損の内訳は、重複回答のため合計数が多くなっている。

表－12c：巨木、林木の欠損の原因

欠損の原因	単木		樹林・並木	
区分	件	%	件	%
大風	2659	15.5	823	18.3
落雷	757	4.4	262	5.8
積雪	710	4.1	269	6.0
病虫害	765	4.5	337	7.5
その他自然災害	3411	19.9	1128	25.1
人為（剪定等）	2822	16.5	448	10.0
不明	6007	35.1	1219	27.2
合計	17131	100.0	4486	100.0

健全度の集計結果を表－１３に示す。

健全度は良が 41,938件、不良が9,484件であり、今回報告のあった巨木の75％は健全度が良とされているが、不良のものも17％と少なくない。

健全度が不良の場合の内訳は、一部枯損が 7,995件（14％）と他の項目に比べて圧倒的に多く、枯死寸前と報告されているものは662件（1.2％）、病虫害ありと報告されているものは295件であった。

表－１３　巨木の健全度　（重複回答有り）

健全度 区分	件	%
良	41938	75.2
不良	9484	17.0
枯死寸前	662	1.2
一部枯損	7995	14.3
病虫害	295	0.5
異常落葉	81	0.1
その他	555	1.0
無回答	4481	8.0
合計	55903	100.2

また、健全度を樹種別に見ると、サクラでは特に健全度不良の割合が高く、単木で42％、林木で36％、合計で41％と著しく高い割合を示している。次いで、イチイ、カシ、カツラ、サワラ、シイ、タブノキ、ニレ、ブナ、ミズナラ、ムクノキ等でも健全度が不良の割合が20％かそれ以上にのぼっており、これらの樹種では５本に１本は健全度が不良であることが明らかになった。

1.3 人文的項目

(1) 信仰対象としての巨木

信仰対象等の集計結果を表－１４に示す。

信仰対象等の有無についてみると、「無し」が 36,703件（64％）と多いが、信仰対象物（社、ほこら、鳥居、しめ縄等）が有るものが12,456件（22％）、禁忌（タブー等）が有る場合が716件、巨木にまつわる祭事等が有る場合が1,230件となっており、何等かの形で人との結び付きが強い巨木は14,402件報告されている。

信仰対象の有無について、樹種別の差異はあまり明瞭ではないものの、ブナ、ミズナラでは信仰の対象となっていないものが9割を超えており、特徴的である。

表－１４　　信仰対象等の有無　　(重複回答有り)

信仰対象等		
区分	件	%
信仰対象無し	36703	63.6
信仰対象有り	12456	21.6
禁忌（タブー）あり	716	1.2
祭事あり	1230	2.1
不明	2690	4.7
無回答	3891	6.7
合 計	57686	

(2) 巨木の呼称・名称

巨木に関する独特の呼称・名称等の有無の集計結果を表－１５に示す。

独特の呼称・名称の有無についてみると、「無し」が29,781件、「有り」が5,152件で､「無し」が「有り」を５倍以上上回った。

樹種別にみると、イチイ、サクラ、マツで独特の呼称・名称が有りとされている割合が高く（30～40%）、これらの樹種は人との関わりが深いことがうかがわれる。

表－１５　　独特の呼称・名称の有無

独特の呼称・名称		
区 分	件	%
無し	42221	75.6
有り	7295	13.1
不明	2459	4.4
無回答	3823	6.9
合 計	55798	100.0

(3) 巨木の故事・伝承

巨木の故事・伝承有無の集計結果を表－１６に示す。

故事・伝承の有無についてみると、「無し」が41,617件（75%）、「有り」が3,354件（6%）で、大半の巨木に関しては故事・伝承等は無いとされている。

表－１６　巨木に関する故事・伝承の有無

故事伝承		
区 分	件	%
無し	41617	74.6
有り	3354	6.0
不明	6858	12.3
無回答	3969	7.1
合 計	55798	100.0

(4) 巨木の視認性

巨木の視認性に関する集計結果を表－１７に示す。

巨木の視認性についてみると、「遠方からも目立つ」巨木は 17,930件（32%）、「付近に行けば目立つ」巨木が 26,491件（48%）で、「直前まで見えない」巨木は7,453件（13%）であった。

巨木の視認性は、巨木の大きさのみならず周囲の状況にも大きく左右されると思われるが、巨木の多くはかなり遠くからでも目立つことがうかがわれる。

表－１７　巨木の視認性

視認性		
区分	件	%
遠方からも目立つ	17930	32.1
付近に行けば目立つ	26491	47.5
直前まで見えない	7453	13.4
無回答	3924	7.0
合計	55798	100.0

(5) 巨木の直接利用（樹林）

巨木の直接利用（樹林）の集計結果を表－１８に示す。

直接利用の有無についてみると、「無し」が 36,091件（65%）、「有り」が5,297件（8%）で、「無し」が「有り」を約８倍以上上回っている。

巨木林を何等かの形で利用しているものの内訳をみると、観光・レクリエーション・公園が 2,874件（5%）と最も多く、次いでその他1,281件（2%）、木材生産 926件（1.7%）、林産物生産126件、その他材木の直接利用90件の順であった。

表－１８　巨木林の直接利用の有無　（重複回答有り）

直接利用		
区分	件	%
特になし	36091	64.7
木材生産	926	1.7
林産物生産	126	0.2
その他林木の直接利用	90	0.2
観光・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ・公園	2874	5.2
その他	1281	2.3
無回答	15189	27.2
合計	56577	101.4

1.4 保護の項目

(1) 巨木の保護指定

単木及び樹林の保護制度の指定に関する集計結果を表－１９に示す。

保護制度の指定が無いものは 27,986件（50％）、何等かの形で保護制度が有るものは15,991件（29％）で、「無し」が「有り」を上回っている。

保護制度の内訳をみると、天然記念物等の指定が 6,774件（12％）と最も多く、次いでその他制度5,066件（9％）、自然公園 2,506件、風致地区・緑地保存地区等 1,468件などの順であった。

表－１９　巨木の保護制度指定の有無

保護制度指定		件	%
区分		件	%
保護制度 無し		27986	50.2
保護制度 有り		15991	28.7
	天然記念物等	6774	12.1
	自然公園	2506	4.5
	自然環境保全地域	275	0.5
	保安林・学習参考保護等	911	1.6
	都市公園	542	1.0
	風致地区等	1468	2.6
	その他制度	5066	9.1
	不明	691	1.2
無回答		11821	21.2
合計		55798	100.0

（「有り」の内訳は重複回答）

巨木の大きさによって保護制度指定の状況を整理したのが、表－２０である。

表－２０から明らかなように、胸高直径が２ｍ以上のものについては保護制度指定が有るものの方が多い。一方、胸高直径が２ｍ以下の樹木については、特に単木の場合に保護制度の指定が無い方が多く、巨木林では保護制度有無の割合はほぼ１：１、並木では保護制度の指定有りの方が多い結果となっている。

表－２０　胸高直径別の保護制度指定の有無

胸高直径 区分	保護制度の有無											
	単木				樹林				並木			
	保護無し		保護有り		保護無し		保護有り		保護無し		保護有り	
	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%
１.０～１.９ｍ	16368	61.55	8504	31.98	3498	48.79	3335	46.52	194	45.12	217	50.47
２.０～２.９ｍ	512	1.93	923	3.47	115	1.60	191	2.66	3	0.70	15	3.49
３.０～３.９ｍ	43	0.16	198	0.74	3	0.04	26	0.36	0	0.00	1	0.23
４.０～４.９ｍ	2	0.01	31	0.12	0	0.00	1	0.01	0	0.00	0	0.00
５.０ｍ以上	3	0.01	9	0.03	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
小計	16928	63.66	9665	36.34	3616	50.44	3553	49.56	197	45.81	233	54.19
合計	26593				7169				430			

さらに、樹種別に保護制度の指定の有無について整理すると、イチイ、カヤ、サクラは天然記念物等の指定が有る割合が高いが、これらの樹種は前述のように独特の呼称・名称の有る割合も高く、一般的に名称が付けられて親しまれていると同時に天然記念物等の指定も受けているものが多いことを示している。

この他に、ブナ、ミズナラでは自然公園としての指定の割合が高いことも特徴的である。

(2) 巨木に関する解説板等の有無

巨木に関する解説板等の有無についての集計結果を表－２１に示す。 集計結果をみると、「無し」が39,372件（71%）、「有り」が14,286件（25%）であった。

「有り」の内訳をみると、解説板が6,523件（12%）と最も多く、次いで、樹名板5,997件（11%）、その他 918件、石表848件の順であった。

表－２１　　巨木に関する解説板等の有無

説明板等の有無		
区 分	件	%
無し	39372	70.6
有り	12544	22.5
樹名板	5997	10.7
解説板	6523	11.7
石標	848	1.5
その他	918	1.6
無回答	3882	7.0
合 計	55798	100.0

（「有り」の内訳は重複回答）

1.5その他の項目

(1) 特記事項

巨木の保護に関する特記事項の集計結果を表－２２に示す。 集計結果をみると、「特記事項無し」が38,838件（70%）、「有り」が12,839件（23%）であった。

「特記事項有り」の内訳をみると、定期的な下刈り・清掃が9,049件（16%）と最も多く、次いで枯損部の削除・枝下ろしが 4,109件（7%）、防護柵設置が 2,256件（4%）などの順であった。

表－２２　巨木の保護に関する特記事項

特記事項		
区分	件	%
無し	38838	69.6
有り	12839	23.0
保護柵設置	2256	4.0
避雷針設置	174	0.3
支柱設置	540	1.0
薬剤散布・施肥	1075	1.9
定期的な下刈り・清掃	9049	16.2
枯損部削除・枝下ろし	4109	7.4
買取運動	23	0.0
その他	952	1.7
無回答	4121	7.4
合計	55798	100.0

（「有り」の内訳は重複回答）

保護に関する特記事項の有無に関して、樹種別にみると、ブナ、ミズナラでは保護に関する特記事項がほとんど無い（90％以上）。ブナ、ミズナラは生育環境が一目に付きにくい山間部に多いことから、定期的な下刈り・清掃といった人の日常生活の範疇でできる世話や保護措置等の対象にはなりにくいものと思われる。

2．項目間集計結果

ここでは今回調査された巨木の健全度と人との関係を主として検討した。

巨木の健全度と周囲の状況とのクロス集計結果を表－２３に示した。

表－２３　　健全度と周囲の状況との関係（単位：件数）

周囲の状況	健全度						合計	良/合計
	単木		樹林・並木		合計			
区分	良	不良	良	不良	良	不良		
樹林	11825	2695	16228	3406	28053	6101	34154	0.82
山林等	2992	731	4327	887	7319	1618	8937	0.82
社叢等	8462	1889	11586	2435	20048	4324	24372	0.82
公園	1153	255	1002	330	2155	585	2740	0.79
耕地	3561	924	2411	665	5972	1589	7561	0.79
建物群	6238	1344	3361	1053	9599	2397	11996	0.80
道路	4727	1315	3336	1058	8063	2373	10436	0.77
水面	511	147	439	151	950	298	1248	0.76
その他	4963	1063	1761	401	6724	1464	8188	0.82
合計	32978	7743	28538	7064	61516	14807	76323	0.81

巨木の健全度と保護制度の有無とのクロス集計結果を表－２４に示した。

表－２４　　健全度と保護制度指定の有無との関係（単位：件数）

保護制度指定区分	健全度						合計	良/合計
	単木		樹林・並木		合計			
	良	不良	良	不良	良	不良		
保護制度無し	14699	3019	3320	584	18019	3603	21622	0.83
保護制度有り	8636	2297	4208	900	12844	3197	16041	0.80
天然記念物等	3088	1049	1037	297	4125	1346	5471	0.75
自然公園	1061	230	929	186	1990	416	2406	0.83
自然環境保全地域	41	25	190	53	231	78	309	0.75
保安林・学習参考保護等	236	92	522	80	758	172	930	0.82
都市公園	241	54	221	41	462	95	557	0.83
風致地区等	797	187	520	117	1317	304	1621	0.81
その他制度	2954	497	701	98	3655	595	4250	0.86
不明	218	163	88	28	306	191	497	0.62
合計	23335	5316	7528	1484	30863	6800	37663	0.82

巨木の健全度と信仰対象等の有無とのクロス集計結果を表－２５に示した。

表－２５　　巨木の健全度と信仰対象等の有無との関係（単位：件数）

信仰対象等区分	健全度						合計	良/合計
	単木		樹林・並木		合計			
	良	不良	良	不良	良	不良		
信仰対象無し	17710	3578	12435	2561	30145	6139	36284	0.83
信仰対象有り	3888	1249	5646	1407	9534	2656	12190	0.78
禁忌（タブー）あり	241	105	261	94	502	199	701	0.72
祭事あり	348	121	595	150	943	271	1214	0.78
不明	1084	355	932	262	2016	617	2633	0.77
合計	23271	5408	19869	4474	43140	9882	53022	0.81

これらの集計結果から巨木の健全度と周囲の状況との関連性について検討した結果、周囲の状況が道路の場合にやや健全度が悪くなることがうかがわれた。また、健全度と保護制度指定の有無との関係について検討したが、天然記念物あるいは自然環境保全地域の指定の場合に健全度がやや悪い傾向がうかがわれたが、十分明らかであるとはいえない。

また、信仰対象の有無と健全度については禁忌（タブー）有りとされている場合にやや健全度が悪い傾向がうかがわれた。

3. 解析結果

3.1 巨樹・巨木林を取りまく環境特性

巨樹・巨木林を取りまく自然環境について、代表的な樹種24種類を取り上げて巨木の位置する３次メッシュの標高及び気候データを整理した。使用したメッシュ気候値データは、年間降水量、年平均気温、年最高・最低気温、温量指数（暖かさの指数）、及び寒量指数（寒さの指数）である。

温量指数とは一種の積算温度であり、月の平均気温が５℃を越す月について、月の平均気温から５℃を引いた値を積算して求める。また、寒量指数とは、月平均気温が５℃未満の月について、月平均気温と５℃との差の積算値を絶対値で表示したものである。既往の知見によると、日本のそれぞれの植生帯における温量指数は次のように推定されている。

亜熱帯：240～180、　暖温帯（丘陵帯）：180～85、　冷温帯（山地帯）：85～45
亜寒帯（亜高山帯）：45～15、高山帯：15未満

巨木の位置する標高を見ると、ブナ、ミズナラの巨木は標高500ｍ～1200ｍの範囲に分布しており、また、温量指数も50～80と山地帯に分布していることが明らかである。イチイ、カツラ、トチノキ、ニレの巨木は、温量指数ではいずれも100以下に分布の中心があるが、標高は900ｍ以下である点で前二者と幾分異なる分布を示す。残りの樹種の多くは温量指数で暖温帯に位置し、標高も500ｍ以下のところが多い。

巨木の樹種と降水量との関係については、概ね年間雨量2000㎜前後のところに分布が集中しているが、サワラ、ニレの巨木は比較的降雨量の少ないところに分布しており、ブナ、ツガの巨木は年間雨量2000㎜より多いところに分布の中心がある。

年平均気温、及び年間最高・最低気温との関係あるいは寒量指数との関係は、概ね温量指数との関係で見られる特徴と類似している。

一方、巨木の周囲の状況の集計結果によれば、今回調査された巨木のうち約30％は周囲の状況が樹林であり、そのうち単木では約36％が、また、樹林、並木等では約52％が社寺の境内や社叢林等の小面積の樹林であった。このことから、巨木の生育環境として社寺等の保有している社叢林等の小面積の樹林が大きな役割を果たしているものと推測される。

また、周囲の状況が樹林以外の建物群、道路などである割合も樹林に次いで高く（建物群 約11％、道路　約9％）、人々の生活域の中で人との関わりを深く保ちながら長い年月を経てきているものも多いと言えよう。

巨木の生育する自然環境の特性、特に標高データ等と周囲の状況等の特性から、樹種別の生育環境を類型化すると、次のようである。

アコウ、イチョウ、エノキ、カヤ、クスノキ、ケヤキ、シイ、ムクノキなどは標高が低いところ（中央値が200ｍ以下）に分布し、また、周囲の状況が建物群あるいは道路である割合が高いことから人里主体型の樹種と推測された。

また、標高が低いところから比較的高いところ（中央値が0～約800ｍ付近）まで分布し、また、周囲の状況が樹林とそれ以外でほぼ同じ割合であることから、人里から山地にかけて主に生育すると推測されたものは、イチイ、サクラ、サワラ、ニレ、マツなどであった。また、標高は人里から山地主体型と同じでも、周囲の状況が樹林が主体であるものとしては、カシ、カツラ、スギ、ヒノキ、タブノキ、ホルトノキ、モミなどであった。

人里主体型あるいは人里～山地主体型の樹種のうち、シイ、カシ、スギ、ヒノキ、ホルトノキなどは、社叢林等に生育している割合が高かった。

標高が高いところ（中央値が500ｍ以上）に生育し、また周囲の状況が樹林であることから山地主体型の樹種と推測されたのは、ツガ、トチノキ、ブナ、ミズナラなどであった。

3.2 巨樹・巨木林の分布特性

報告のあった巨木の全て及び代表的な６樹種の巨木の分布を、図－１～７に示した。分布は、２次メッシュ（約10ｋｍ×約10ｋｍ、1/25,000の地形図の範囲）内に存在する各樹種の単木の本数をメッシュの濃淡で表示した。樹林、並木の場合は複数のメッシュにまたがる樹林、並木の区域の中の個々の巨木の位置が不明なため表示していない。

各樹種毎の巨木の分布の特徴を整理すると、概ね以下のとおりである。

(1) 全樹種（図－１）

報告のあった全ての巨木（単木）について２次メッシュ内の本数を濃淡で表したのが図－１である。巨木の本数が20本以上あるメッシュは関東地方に比較的集中しており、次いで北陸、近畿、九州地方に多い。

(2) イチョウ（図－２）

ほぼ全国にわたって分布しており、特に関東地方に多い点が特徴的である。

(3) クスノキ（図－３）

九州地方に多く見られる他、関東以南の太平洋岸に沿って集中して分布している。

(4) ケヤキ（図－４）

関東地方及び日本海側の海岸線沿いに集中して分布している。

(5) スギ（図－５）

ほぼ全国にわたって分布している。

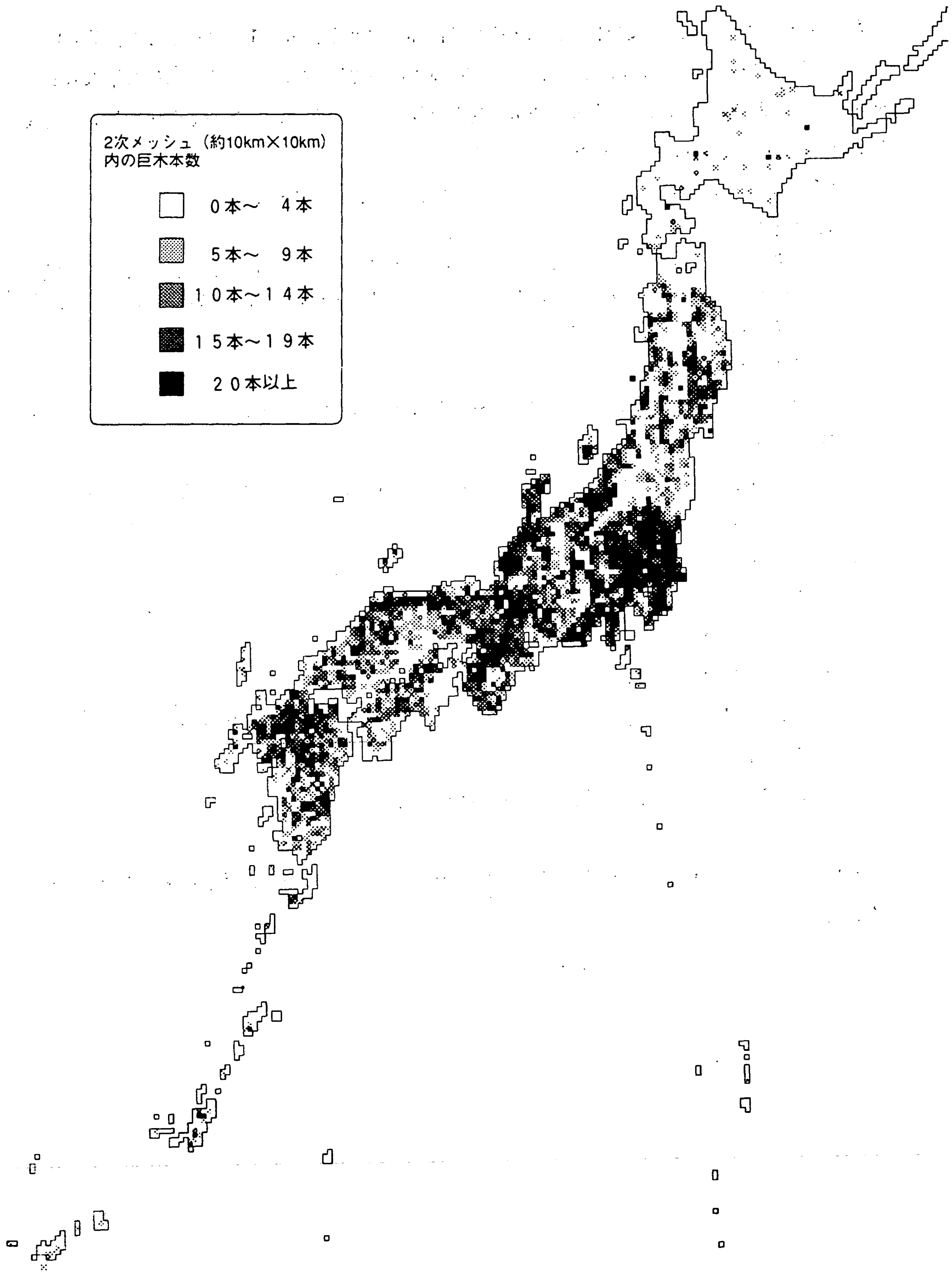
(6) シイ（図－６）

関東地方及び東海地方の海沿い、及び北陸、中国、九州地方の日本海沿岸沿いに多い。

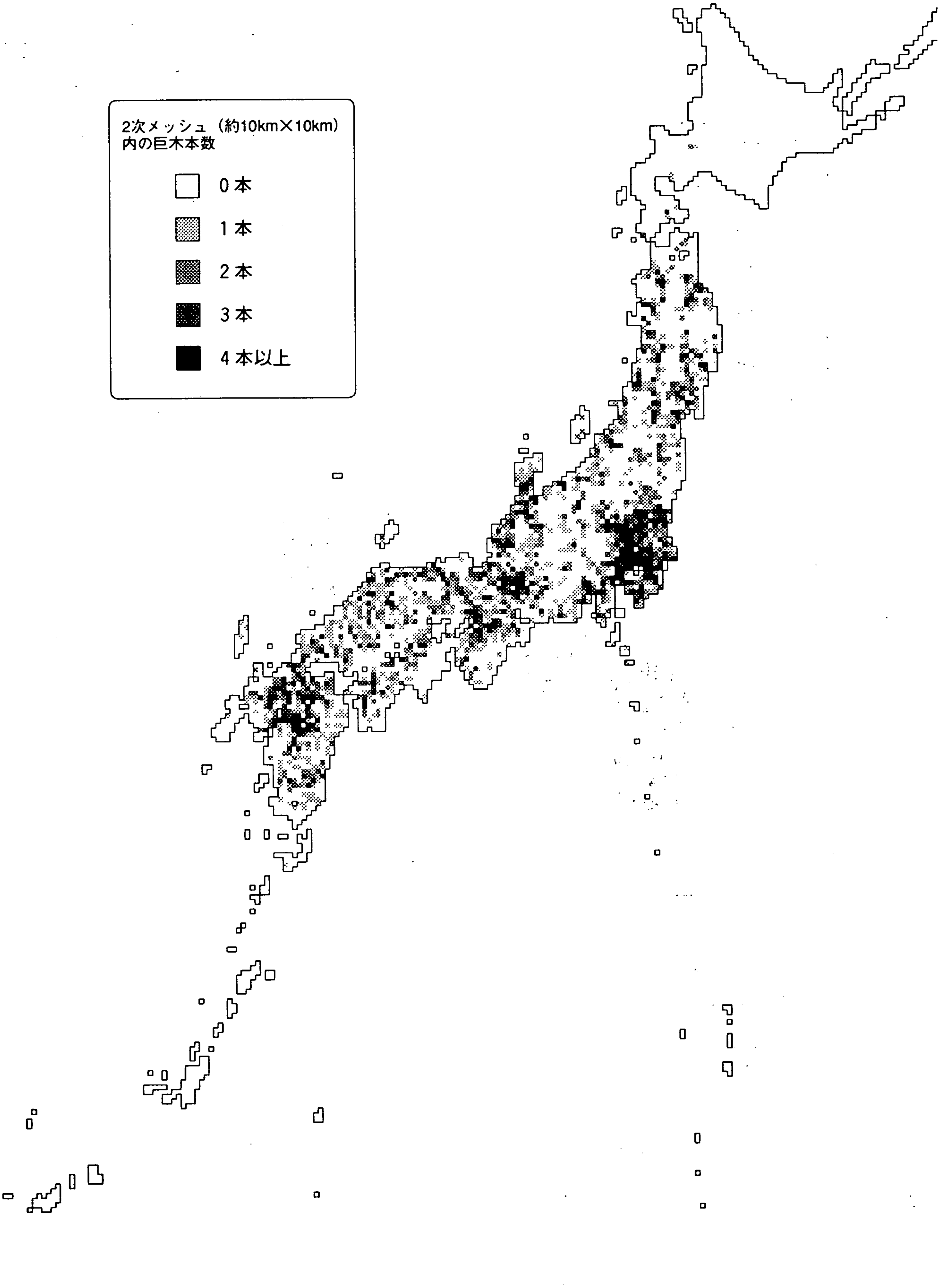
(7) ブナ（図－７）

ほぼ全国で見られるが、北陸、関東北部から東北地方に多い。

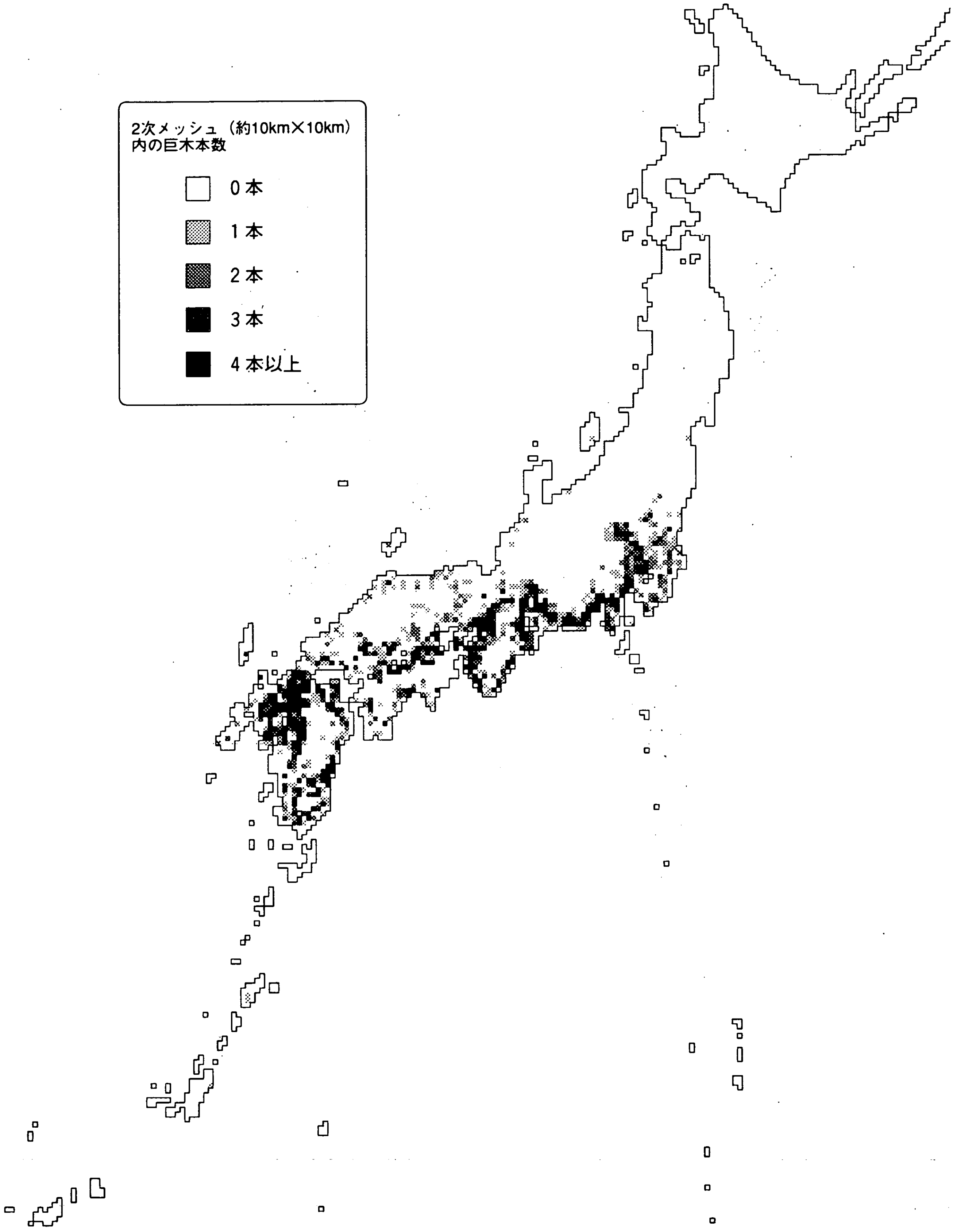
また、図－８は、幹周によって選定した巨木の全国ベスト１０及び樹種別ベスト１の分布図である。



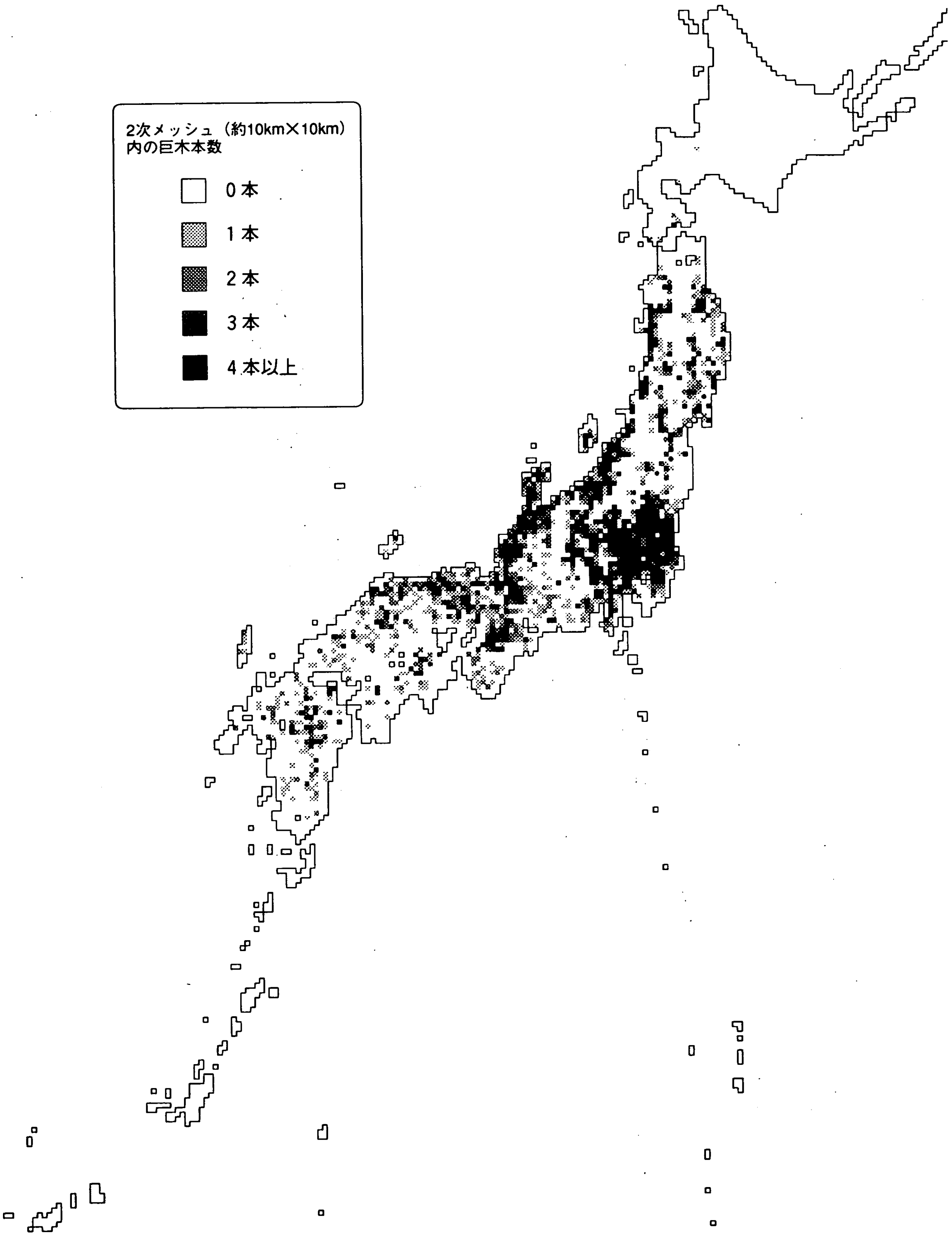
図－１　　　巨木の分布図（全樹種）



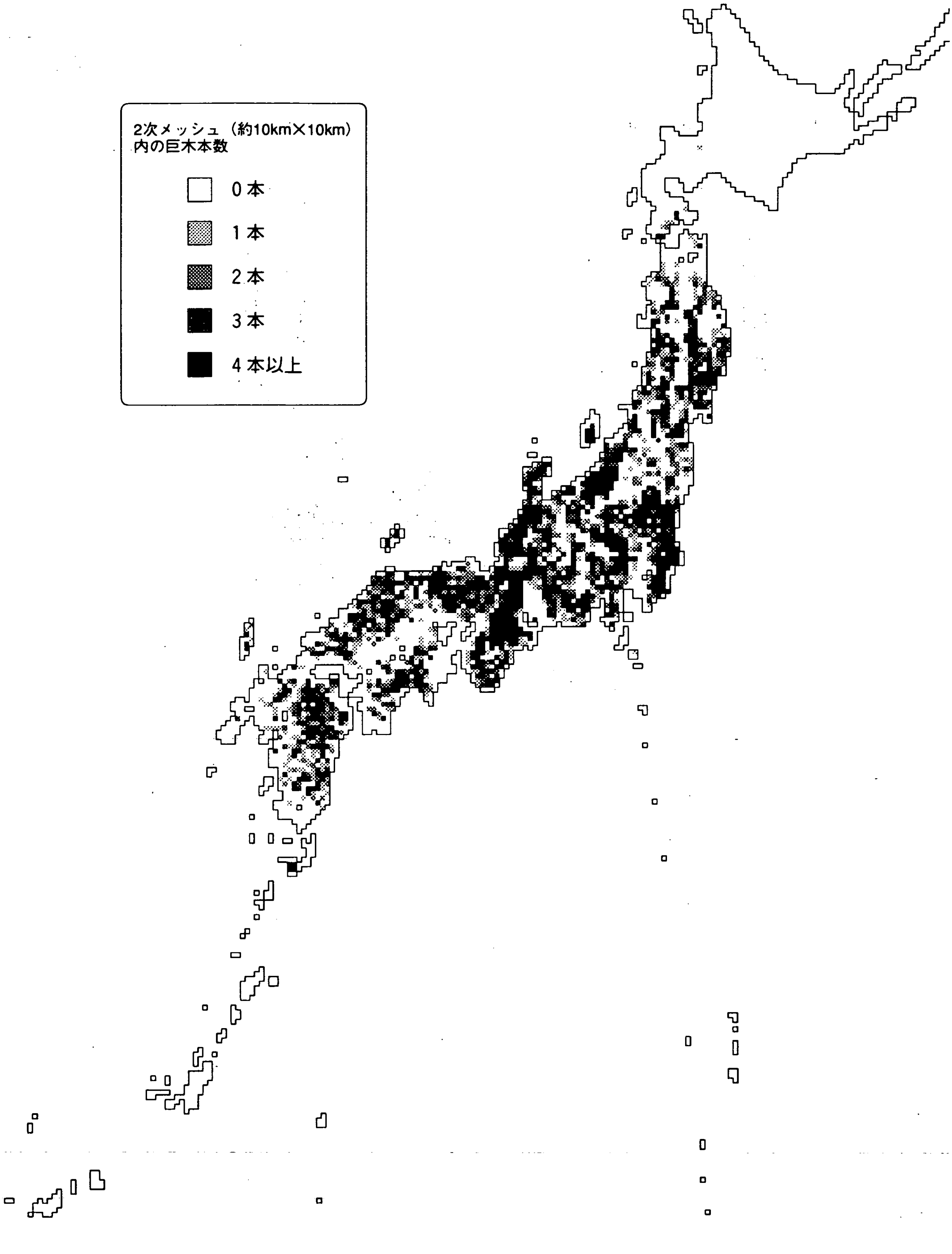
図－2　イチョウの分布図



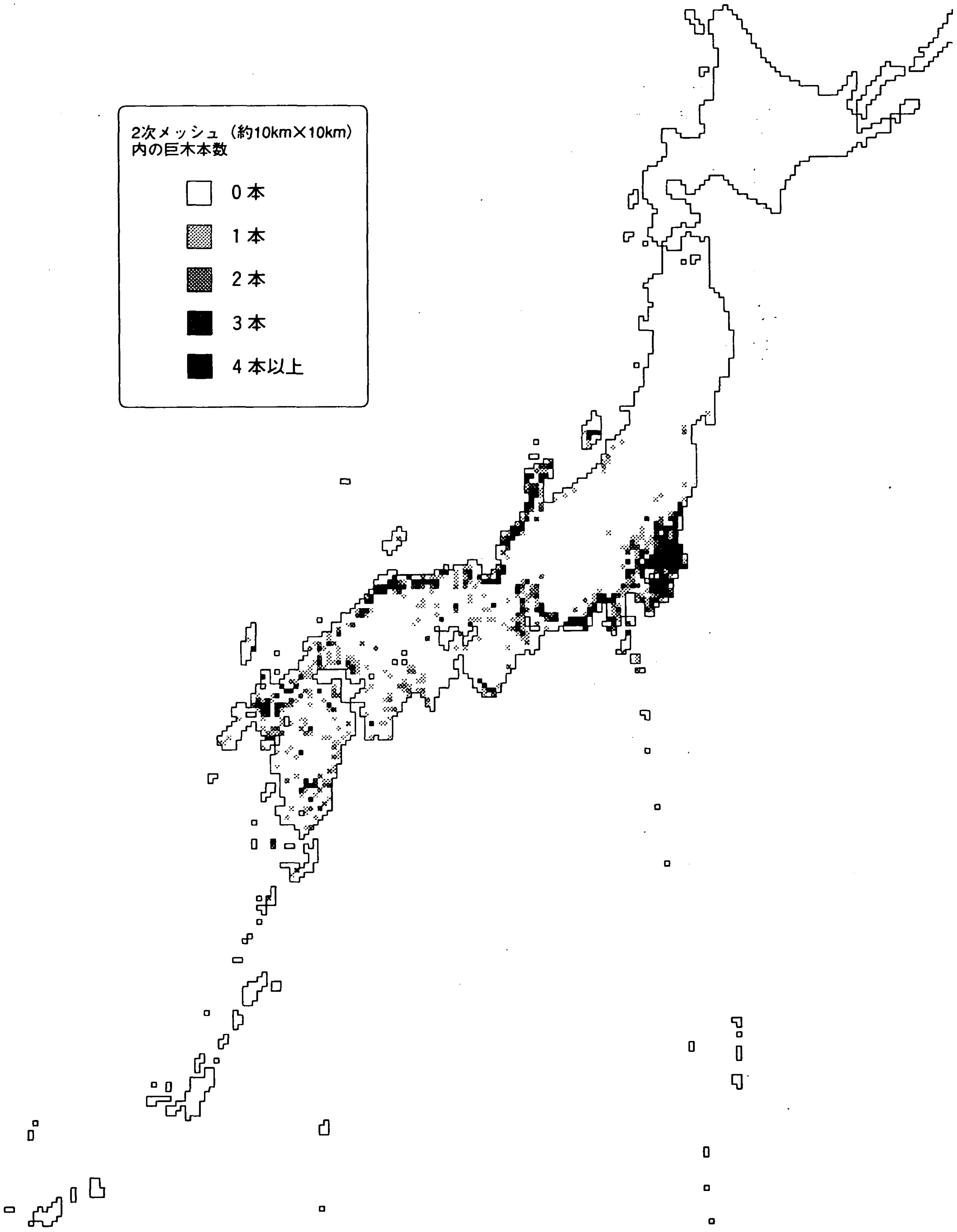
図－3　　クスノキの分布図



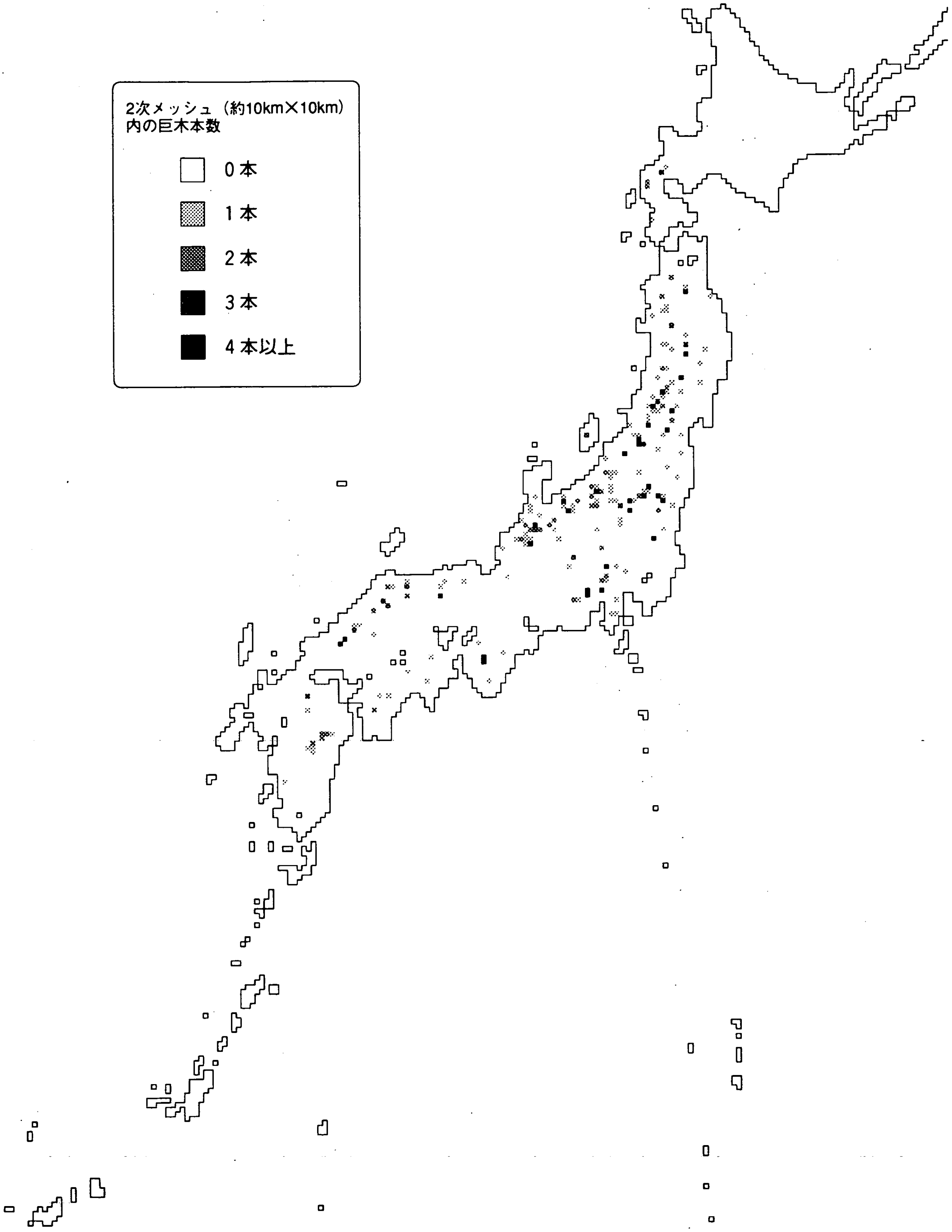
図－4　　　　ケヤキの分布図



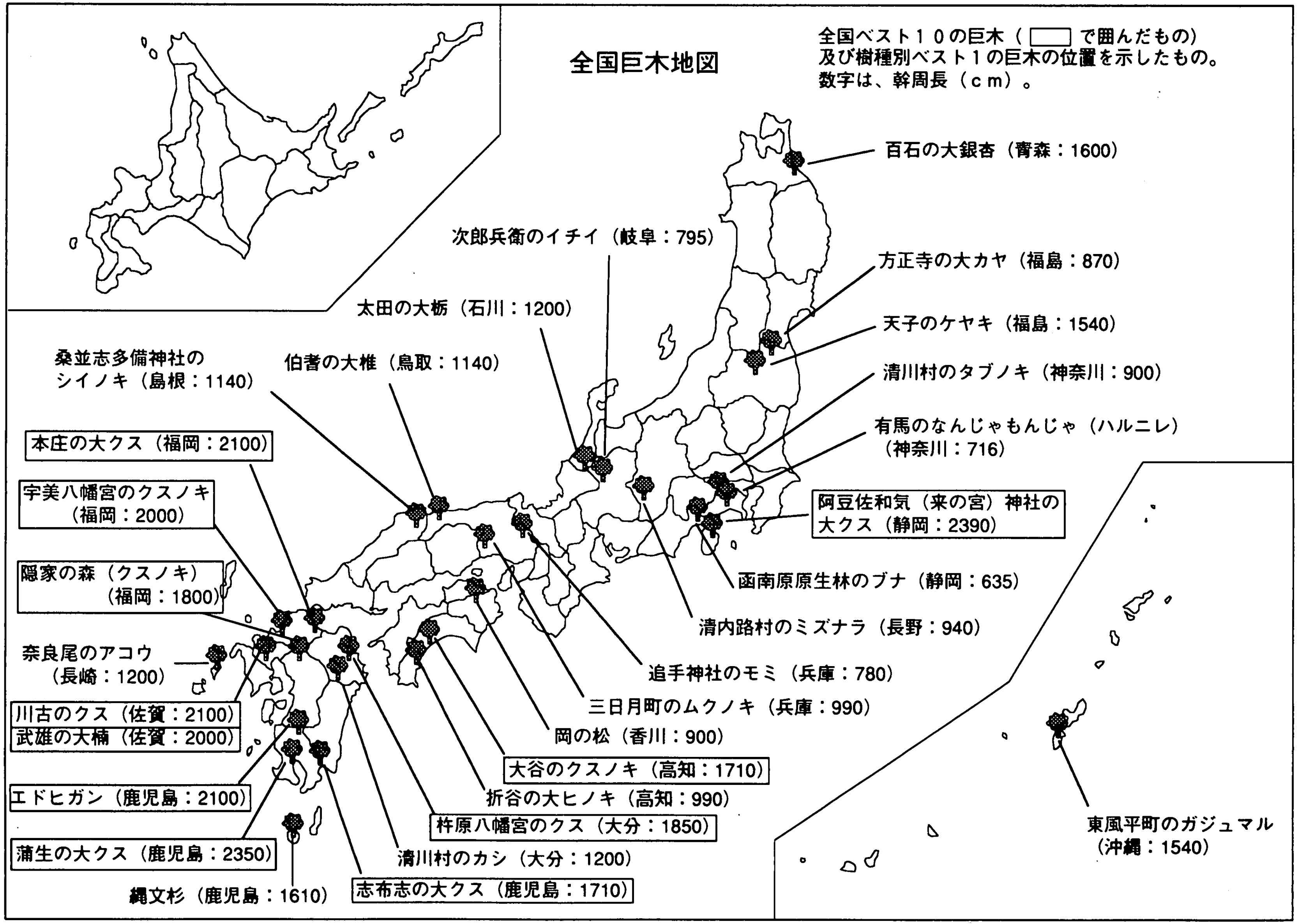
図－5　　シイの分布図



図－6　　　　スギの分布図



図－7　　　　ブナの分布図



図－８　　　全国ベスト１０の巨木の分布図

次に、幹周の特に大きいものについて分布特性をみると以下のようであった。

わが国の代表的な巨木を、樹種にかかわらず幹周の大きさ（株立のものは主幹の大きさ）により、上位６０本まで抽出した（表－２６）。なお、表－２６の内、沖縄県から報告されているガジュマルの巨木については、特異な形状の幹であるため表に掲げていない。

その結果、全国1位は、鹿児島県蒲生町のクスノキで、幹周は２４.２ｍ（胸高直径7.7m）であった。また、上位10位までに含まれる11本をみると、クスノキが10本を占め、残りの1本はエドヒガン（サクラ）であった。都道府県別には鹿児島県が３本と最も多く、次いで佐賀県、福岡県が各２本、静岡県、大分県、高知県が各１本と、８本が九州の県で占められていた。

さらに、各都道府県を代表する巨木を、樹種にかかわらず幹周の大きさ（株立のものは主幹の大きさ）により、都道府県毎に上位３種類まで抽出した（表－２７）。

その結果、九州の各県の上位３位に選ばれた巨木の幹周は他の県に比べて大きい傾向がみられた。また、ベスト３に多く出現する樹種は比較的限られており、中でもクスノキ、スギ、ケヤキ、イチョウの出現する割合が高かった。

クスノキは、近畿以南の各県におけるベスト３の大半を占めている。また、スギは岩手県から宮崎県にかけての多くの県のベスト３に平均的に出現していた。また、ケヤキは主に東日本に多く出現し、イチョウも広範囲に出現するものの東日本が中心であった。

この他、特徴的なものとして、北海道ではミズナラ、イチイがベスト３に入り、沖縄ではガジュマルがベスト３を占めていた。これらの樹種は他の県では上位に出現しないものであり、両県の自然環境の特性を表わしていると推察される。

次にわが国の代表的な樹種24種について、樹種別の代表的な巨木を幹周の大きさ（株立のものは主幹の大きさ）により上位１０位まで抽出した（表－２８）。

その結果、上位１０位までの半数（5本）以上が１つの県で占められている種類は、アコウ（鹿児島県）、イチイ（長野県）、カシ（熊本県）、サワラ（長野県）、ツガ（鹿児島県）、ホルトノキ（静岡県）、及びガジュマル（沖縄県）であった。

また、これらの樹種の上位１０位までの巨木を最も多く持っている県は、鹿児島県が19本と最も多く、次いで長野県18本、福島県12本、熊本県10本、以下、岩手、岐阜、鳥取、宮崎及び沖縄の各県が9本であった。

表－２６　全国巨木リスト（上位60本）［その１］

順位	都道府県	樹種	所在地	幹周(cm)	独特の呼称	保護制度指定
1	鹿児島県	ｸｽﾉｷ	蒲生町 八幡神社	2,422	蒲生の大楠	天然記念物等(国)
2	静岡県	ｸｽﾉｷ	熱海市 来の宮神社	2,390	来の宮の大楠	天然記念物等(国)
3	福岡県	ｸｽﾉｷ	築城町 下本庄 大楠神社	2,100	大楠	天然記念物等(国)
3	佐賀県	ｸｽﾉｷ	武雄市 川古 稲荷大明神	2,100	川古の大楠	天然記念物等(国) その他制度
3	鹿児島県	ｴﾄﾞﾋｶﾞﾝ	大口市 奥十曽	2,100	無	保安林・学術参考保護等
6	福岡県	ｸｽﾉｷ	宇美町 宇美八幡宮	2,000	衣掛の森，湯蓋の森，蚊田の森	天然記念物等(国,都道府県)
6	佐賀県	ｸｽﾉｷ	武雄市 武雄神社 天神神社	2,000	武雄の大楠	天然記念物等(市町村) その他制度
8	大分県	ｸｽﾉｷ	大分市 八幡 柞原八幡宮	1,850	無	天然記念物等(国)
9	福岡県	ｸｽﾉｷ	朝倉町 恵蘇宿	1,800	隠家の森	天然記念物等(国)
10	高知県	ｸｽﾉｷ	須崎市 須賀神社	1,710	大谷のクスノキ	天然記念物等(国) 自然公園(都道府県立)
10	鹿児島県	ｸｽﾉｷ	志布志町 山宮神社	1,710	志布志の大楠	天然記念物等(国)
12	鹿児島県	ｽｷﾞ	上屋久町 高塚山	1,610	縄文杉	自然公園(国立)
13	青森県	ｲﾁｮｳ	百石町 下谷地	1,600	無	天然記念物等(市町村)
13	鹿児島県	ｸｽﾉｷ	川辺町 飯倉神社	1,600	無	天然記念物等(都道府県)
15	新潟県	ｽｷﾞ	三川村 岩谷	1,595	将軍杉	天然記念物等(国)
16	福岡県	ｸｽﾉｷ	宇美町 宇美八幡宮	1,570	衣掛の森，湯蓋の森，蚊田の森	天然記念物等(国,都道府県)
17	福島県	ｹﾔｷ	猪苗代町 本町 天子神社	1,540	天子のケヤキ	その他制度
18	岩手県	ｶﾂﾗ	軽米町	1,533	古屋敷の千本桂	天然記念物等(市町村)
19	埼玉県	ｸｽﾉｷ	越生町 上谷	1,500	有	天然記念物等(都道府県) 自然公園(都道府県立)
19	静岡県	ｸｽﾉｷ	伊東市 葛見神社	1,500	葛見神社の大樟	天然記念物等(国)
19	静岡県	ｸｽﾉｷ	河津町 来ノ宮神社	1,500	来の宮神社大楠	天然記念物等(国)
19	愛媛県	ｶﾂﾗ	伊予三島 上猿田	1,500	不明	天然記念物等(都道府県) 保安林・学術参考保護等

注）株立ちしていない場合は幹周が300cm以上のもの、株立ちしている場合は主幹が200cm以上のものを選んだ。沖縄県のガジュマルは、特異な幹形状であるため省略した。

表－２６　　全国巨木リスト（上位60本）［その２］

順位	都道府県	樹種	所在地	幹周(cm)	独特の呼称	保護制度指定
23	高知県	ｽｷﾞ	大豊町 八坂神社	1,500	日本一の大杉	天然記念物等(国) 自然公園(都道府県立)
24	熊本県	ｸｽﾉｷ	三角町 上本庄 天神さん	1,490	郡浦の天神クス	天然記念物等(都道府県)
25	山梨県	ｹﾔｷ	若草町	1,472	三恵の大けやき	天然記念物等(国)
26	岩手県	ｲﾁｮｳ	久慈市 長泉寺	1,470	大銀杏樹	天然記念物等(国)
27	三重県	ｸｽﾉｷ	御浜町 引作	1,440	阿田和の大楠	天然記念物等(都道府県)
28	千葉県	ｽｷﾞ	天津小湊 清澄 清澄寺	1,415	清澄の大スギ、千年杉	天然記念物等
29	青森県	ｲﾁｮｳ	十和田湖 法量銀杏木	1,400	明神様	天然記念物等(国)
29	岐阜県	ｽｷﾞ	白鳥町 石徹白	1,400	石徹白大杉	天然記念物等 自然公園(国立)
29	香川県	ｸｽﾉｷ	詫間町 志々島楠ノ倉 楠公正一位稲荷　大明神	1,400	志々島の大楠	天然記念物等(都道府県)
29	鹿児島県	ｸｽﾉｷ	高山町 塚崎	1,400	塚崎のクス	天然記念物等(国)
33	福井県	ｶﾂﾗ	大野市 白山神社	1,390	白山神社のカツラ	天然記念物等(都道府県)
33	佐賀県	ｸｽﾉｷ	武雄市 塚崎	1,390	塚崎の大楠	天然記念物等(市町村) その他制度
35	高知県	ｶﾂﾗ	大川村 小北川	1,380	無	無
36	長野県	ｽｷﾞ	根羽村 月瀬	1,379	月瀬の大杉	天然記念物等(国)
37	岐阜県	ｽｷﾞ	上矢作町 大船山 大船神社	1,360	弁慶杉	天然記念物等(都道府県) 保安林・学術参考保護等 その他制度
38	新潟県	ｶﾂﾗ	塩沢町 薬照寺	1,350	薬照寺の大カツラ	天然記念物等(都道府県)
38	静岡県	ｸｽﾉｷ	函南町 天地神社	1,350	無	天然記念物等(都道府県)
38	鹿児島県	ｽｷﾞ	屋久町 紀元スギ	1,350	紀元杉	自然公園(国立)
41	岡山県	ｲﾁｮｳ	奈義町 高円	1,348	菩提寺大イチョウ	天然記念物等(国)
42	徳島県	ｲﾁｮｳ	上板町 乳保神社	1,342	無	天然記念物等(国)
43	和歌山県	ｸｽﾉｷ	かつらぎ 笠田東，妙楽寺	1,340	無	天然記念物等(都道府県)

表－２６　　全国巨木リスト（上位60本）［その３］

順位	都道府県	樹種	所在地	幹周(cm)	独特の呼称	保護制度指定
44	新潟県	ｽｷﾞ	糸魚川市 白山社	1,330	杉之当の大スギとシナノ木	天然記念物等(都道府県)
44	熊本県	ｸｽﾉｷ	北部町 寂心さん	1,330	寂心さんの樟木	天然記念物等(都道府県)
44	宮崎県	ｽｷﾞ	椎葉村 十根川 十根川神社	1,330	八村杉	天然記念物等(国)
47	宮崎県	ｸｽﾉｷ	清武町 船引 船引神社	1,320	八幡楠	天然記念物等(国)
48	三重県	ｸｽﾉｷ	飯高町 水屋神社	1,310	水屋の大クス	自然公園(都道府県立)
49	山形県	ｽｷﾞ	平田町 小林	1,300	無	天然記念物等(市町村)
49	石川県	ﾄﾁﾉｷ	白峰村 太田大道谷	1,300	太田の大栃	天然記念物等(市町村)
49	静岡県	ｸｽﾉｷ	静岡市 津島神社，浅間神社	1,300	無	無
49	静岡県	ｸｽﾉｷ	浜松市	1,300	雲立のクス	天然記念物等(市町村) 風致地区・緑地保全地区等
49	静岡県	ｸｽﾉｷ	清水市 但沼神社	1,300	不明	天然記念物等(都道府県)
49	広島県	ｸｽﾉｷ	三原市 糸崎神社	1,300	無	天然記念物等(市町村)
49	徳島県	ｸｽﾉｷ	三加茂町 加茂	1,300	加茂の大クス	天然記念物等(国)
49	佐賀県	ｸｽﾉｷ	有明町 辺田	1,300	稲佐神社のクス	
49	長崎県	ｸｽﾉｷ	有明町 松崎	1,300	松崎のオオクス	天然記念物等(都道府県)
49	鹿児島県	ｸｽﾉｷ	川内市 新田神社	1,300	大楠	天然記念物等(市町村)
59	鳥取県	ｶﾂﾗ	河原町 落河内	1,290	落河内のカツラ	天然記念物等(都道府県)
59	鹿児島県	ｸｽﾉｷ	鹿児島市 城山	1,290	城山のクス林	天然記念物等(国)

表－２７　　都道府県別巨木リスト（上位３位）　［その１］

都道府県	順位	樹種	所在地	幹周(cm)	独特の呼称	保護制度指定
北海道	1	ﾐｽﾞﾅﾗ	名寄市	910	無	保安林・学術参考保護等
	2	ﾄﾁﾉｷ	七飯町	860	無	無
	3	ｲﾁｲ	士別市 ヲウエベツ	750	祖神の松	その他制度
青森県	1	ｲﾁｮｳ	百石町 下谷地	1,600	無	天然記念物等(市町村)
	2	ｲﾁｮｳ	十和田湖 法量銀杏木	1,400	明神様	天然記念物等(国)
	3	ｲﾁｮｳ	七戸町 銀杏木	1,160	子安イチョウ	天然記念物等(都道府県)
岩手県	1	ｶﾂﾗ	軽米町	1,533	古屋敷の千本桂	天然記念物等(市町村)
	2	ｲﾁｮｳ	久慈市 長泉寺	1,470	大銀杏樹	天然記念物等(国)
	3	ｽｷﾞ	三陸町	1,160	無	天然記念物等(市町村)
宮城県	1	ｲﾁｮｳ	丸森町 山根	1,160	丸森の大銀杏	天然記念物等(都道府県)
	2	ｲﾁｮｳ	柴田町 雨乞	1,150	雨乞のイチョウ	天然記念物等(国) その他制度
	3	ｼｲﾉｷ	亘理町	1,015	無	天然記念物等(国)
秋田県	1	ｽｷﾞ	山内村 比叡山神社	1,120	番神の大杉	天然記念物等(都道府県)
	2	ｹﾔｷ	神岡町 上町	1,108	無	無
	3	ｹﾔｷ	五城目町 帝釈寺	960	無	天然記念物等(市町村)
山形県	1	ｽｷﾞ	平田町 小林	1,300	無	天然記念物等(市町村)
	2	ｹﾔｷ	東根市	1,260	車根の大ケヤキ	天然記念物等
	3	ｽｷﾞ	真室川町 釜渕	1,148	滝の沢の一本杉（おばけ杉）	天然記念物等(市町村)
福島県	1	ｹﾔｷ	猪苗代町 本町 天子神社	1,540	天子のケヤキ	その他制度
	2	ｽｷﾞ	岩代町 杉沢	1,230	杉尺の大スギ	天然記念物等(国) その他制度
	3	ｹﾔｷ	下郷町 中山	1,200	八幡ケヤキ	その他制度
茨城県	1	ｹﾔｷ	小川町 下馬場 鹿島神社	1,160	不明	天然記念物等(市町村)
						自然環境保全地域(都道府県)
	2	ｲﾁｮｳ	大子町 上金沢	1,126	無	天然記念物等(市町村)
	3	ｹﾔｷ	一ノ矢 八坂神社	1,000	一の矢の大欅	天然記念物等(都道府県)
栃木県	1	ｽｷﾞ	塩原町 八幡神社	1,065	逆杉	天然記念物等(国)
						自然公園(国立) その他制度
	2	ｹﾔｷ	壬生町 円宗寺	890	円宗寺の大ケヤキ	天然記念物等(都道府県)
	3	ｲﾁｮｳ	藤原町 上三依	880	上三依観音堂の大イチョウ	天然記念物等(市町村)
群馬県	1	ｲﾁｮｳ	尾島町 堀口 浄蔵寺	1,100	浄蔵寺の大イチョウ	天然記念物等(市町村)
					新田義貞駒つなぎのイチョウ	
	2	ｽｷﾞ	松井田町	1,000	五郎の大杉	天然記念物等(市町村)
	2	ｹﾔｷ	吾妻町 南町	1,000	槻ノ木	天然記念物等(国)
埼玉県	1	ｸｽﾉｷ	越生町 上谷	1,500	有	天然記念物等(都道府県)
						自然公園(都道府県立)
	2	ｲﾁｮｳ	飯能市 高山 高山不動尊	1,000	高山不動の大イチョウ	天然記念物等(都道府県)
						自然公園(都道府県立)
	3	ｹﾔｷ	浦和市 大久保領家	913	大久保の大ケヤキ	天然記念物等(市町村)
千葉県	1	ｽｷﾞ	天津小湊 清澄 清澄寺	1,415	清澄の大スギ、千年杉	天然記念物等
	2	ｸｽﾉｷ	富津市 環（興源寺）	1,250	環の大クス	天然記念物等(都道府県)
	3	ｲﾁｮｳ	市川市 八幡神社	1,200	千本公孫樹	天然記念物等(国)
東京都	1	ｲﾁｮｳ	港区 善福寺	1,040	逆さイチョウ	天然記念物等(国)
	1	ｹﾔｷ	練馬区	1,000	大ケヤキ	天然記念物等(国)
	3	ｹﾔｷ	府中市	1,000	無	その他制度
神奈川県	1	ｽｷﾞ	山北町	1,200	無	天然記念物等(国)
						自然公園(国定)
	2	ｸｽﾉｷ	厚木市	1,050	無	天然記念物等(都道府県)
						その他制度
	3	ｹﾔｷ	秦野市	1,000	落幡の大エノキ	天然記念物等(都道府県)
新潟県	1	ｽｷﾞ	三川村 岩谷	1,595	将軍杉	天然記念物等(国)
	2	ｶﾂﾗ	塩沢町 薬照寺	1,350	薬照寺の大カツラ	天然記念物等(都道府県)
	3	ｽｷﾞ	糸魚川市 白山社	1,330	杉之当の大スギとシナノ木	天然記念物等(都道府県)

正　誤　表

３５ページ　　表ー２７　都道府県別巨木リスト（上位３位）　［その２］

愛知県	誤	1 スギ 旭町 杉本 1,175 貞観スギ 2 クスノキ 蒲郡市 1,170 清田の大樟
	正	1 クスノキ 蒲郡市 1,180 清田の大樟 2 スギ 旭町 杉本 1,175 貞観スギ

誤:

1	スギ	旭町 杉本	1,175	貞観スギ
2	クスノキ	蒲郡市	1,170	清田の大樟

正:

1	クスノキ	蒲郡市	1,180	清田の大樟
2	スギ	旭町 杉本	1,175	貞観スギ

表－２７　　都道府県別巨木リスト（上位３位）　［その２］

都道府県	順位	樹種	所在地	幹周(cm)	独特の呼称	保護制度指定
富山県	1	ｲﾁｮｳ	氷見市 朝日本町	1,200	上日寺の大イチョウ	天然記念物等(国)
	2	ﾄﾁﾉｷ	利賀村 脇谷	1,189	脇谷のトチノキ	天然記念物等(国)
	3	ｽｷﾞ	利賀村 坂上 坂上神社	1,100	坂上の大杉	天然記念物等(都道府県)
石川県	1	ﾄﾁﾉｷ	白峰村 太田大道谷	1,300	太田の大栃	天然記念物等(市町村)
	2	ｽｷﾞ	金沢市 八幡神社	1,165	不明	無
	3	ｲﾁｮｳ	七尾市 百海伊影山神社	1,087	無	天然記念物等(市町村)
福井県	1	ｶﾂﾗ	大野市 白山神社	1,390	白山神社のカツラ	天然記念物等(都道府県)
	2	ｹﾔｷ	大野市 専福寺	1,120	反兼の大ケヤキ	天然記念物等(国)
	3	ｶﾂﾗ	今庄町 岩谷	1,000	無	無
	3	ﾄﾁﾉｷ	今庄町 岩谷	1,000	無	無
山梨県	1	ｹﾔｷ	若草町	1,472	三恵の大けやき	天然記念物等(国)
	2	ｹﾔｷ	須玉町根古屋神社	1,190	田木畑木	天然記念物等(国)
	3	ｽｷﾞ	早川町 下湯島山王神社	1,110	湯島の大杉	天然記念物等(市町村)
長野県	1	ｽｷﾞ	根羽村 月瀬	1,379	月瀬の大杉	天然記念物等(国)
	2	ｹﾔｷ	上田市 古安曽	1,173	大六のケヤキ	無
	3	ｽｷﾞ	中条村	1,105	有	天然記念物等(都道府県)
岐阜県	1	ｽｷﾞ	白鳥町 石徹白	1,400	石徹白大杉	天然記念物等 自然公園(国立)
	2	ｽｷﾞ	上矢作町 大船神社	1,360	弁慶杉	天然記念物等(都道府県) 保安林・学術参考保護等 その他制度
	3	ｽｷﾞ	丹生川村 下保千光寺	1,210	無	天然記念物等(国)
静岡県	1	ｸｽﾉｷ	熱海市 来の宮神社	2,390	来の宮の大楠	天然記念物等(国)
	2	ｸｽﾉｷ	河津町 来ノ宮神社	1,500	来の宮神社大楠	天然記念物等(国)
	2	ｸｽﾉｷ	伊東市 葛見神社	1,500	葛見神社の大樟	天然記念物等(国)
愛知県	1	ｽｷﾞ	旭町 杉本	1,175	貞観スギ	天然記念物等(国)
	2	ｸｽﾉｷ	蒲郡市	1,170	清田の大樟	天然記念物等(国)
	3	ｸｽﾉｷ	新城市 鳥原	1,041	無	天然記念物等(市町村)
三重県	1	ｸｽﾉｷ	御浜町 引作	1,440	阿田和の大楠	天然記念物等(都道府県)
	2	ｸｽﾉｷ	飯高町 水屋神社	1,310	水屋の大クス	自然公園(都道府県立)
	3	ｸｽﾉｷ	尾鷲市 飛鳥神社	1,150	無	天然記念物等(都道府県)
滋賀県	1	ｶﾂﾗ	多賀町 向之倉	1,160	不明	無
	2	ｹﾔｷ	多賀町 尼子	975	女飯盛木	無
	3	ｹﾔｷ	余呉町 野神	910	無	無
京都府	1	ﾄﾁﾉｷ	綾部市 君尾山	1,040	大トチ	保安林・学術参考保護等
	2	ｽｷﾞ	和束町 八坂神社	1,000	ぎおんスギ	天然記念物等(都道府県)
	3	ｶﾂﾗ	美山町 芦生	995	無	都市公園
大阪府	1	ｸｽﾉｷ	門真市 三ツ島	1,250	薫蓋のクス	天然記念物等(国) その他制度
	2	ｹﾔｷ	能勢町 野間稲地	1,195	野間の大けやき（蝋無のケヤキ）	天然記念物等(国)
	3	ｸｽﾉｷ	寝屋川市	1,050	無	その他制度
兵庫県	1	ｶﾂﾗ	篠山町 藤坂	1,200	無	天然記念物等(市町村)
	2	ｽｷﾞ	八鹿町 妙見名草神社	1,140	夫婦杉、妙見の杉	天然記念物等(国) 自然公園(国定)
	3	ｽｷﾞ	関宮町	1,100	ホードー杉	天然記念物等(市町村)
奈良県	1	ｸｽﾉｷ	奈良市	1,120	無	風致地区・緑地保全地区等
	2	ｹﾔｷ	櫻井市 天神社 天神神社	1,100	無	無
	3	ｽｷﾞ	十津川村 玉置神社	1,000	大杉	天然記念物等(都道府県) 自然環境保全地域(都道府県)
和歌山県	1	ｸｽﾉｷ	かつらぎ 笠田東，妙楽寺	1,340	無	天然記念物等(都道府県)
	2	ｸｽﾉｷ	串本町 有田 有田神社	1,190	無	無
	3	ｸｽﾉｷ	粉河町 大神宮	1,142	無	無
鳥取県	1	ｶﾂﾗ	河原町 落河内	1,290	落河内のカツラ	天然記念物等(都道府県)
	2	ｶﾂﾗ	江府町 洲河崎後山	1,170	かつらの巨木	天然記念物等(市町村)
	3	ｽﾀﾞｼﾞｲ	東伯町 宮場 春日神社	1,140	伯者の大椎	天然記念物等(国)

表－２７　　都道府県別巨木リスト（上位３位）　［その３］

都道府県	順位	樹種	所在地	幹周(cm)	独特の呼称	保護制度指定
島根県	1	ｸｽﾉｷ	日原町 堤田	1,250	大元神社趾（畑）の楠	天然記念物等(都道府県,市町村)
	2	ｽﾀﾞｼﾞｲ	八雲村 志多備神社	1,140		天然記念物等(市町村)
	3	ｶﾂﾗ	大東町 日原神社	1,100	無	天然記念物等(都道府県)
岡山県	1	ｲﾁｮｳ	奈義町 高円	1,348	菩提寺大イチョウ	天然記念物等(国)
	2	ﾑｸﾉｷ	鏡野町 高山	950	無	天然記念物等(市町村)
	3	ｽｷﾞ	成羽町 小泉	925	小泉の大杉	天然記念物等(都道府県)
広島県	1	ｸｽﾉｷ	三原市 糸崎神社	1,300	無	天然記念物等(市町村)
	2	ｽｷﾞ	戸河内町 梶ノ木	990	有	天然記念物等(都道府県)
	3	ｲﾁｮｳ	高野町 上市	960	乳下り大銀杏樹	天然記念物等(都道府県)
山口県	1	ｽｷﾞ	徳山市 山ノ神 八幡宮	1,050	大玉杉	天然記念物等(国)
	2	ｸｽﾉｷ	豊浦町 下小野舎	1,020	クスの森	天然記念物等(国)
	3	ｸｽﾉｷ	防府市	900	無	天然記念物等(都道府県)
徳島県	1	ｲﾁｮｳ	上板町 乳保神社	1,342	無	天然記念物等(国)
	2	ｸｽﾉｷ	三加茂町 加茂	1,300	加茂の大クス	天然記念物等(国)
	3	ｸｽﾉｷ	山川町 川田市	1,235	無	無
香川県	1	ｸｽﾉｷ	詫間町 志々島楠ノ倉 楠公 正一位稲荷　大明神	1,400	志々島の大楠	天然記念物等(都道府県)
	2	ｸｽﾉｷ	善通寺市 伽藍	1,236	無	天然記念物等(都道府県)
	3	ｸｽﾉｷ	善通寺市 伽藍	1,000	無	天然記念物等(都道府県)
愛媛県	1	ｶﾂﾗ	伊予三島 上猿田	1,500	不明	天然記念物等(都道府県) 保安林・学術参考保護等
	2	ｶﾂﾗ	長浜町	1,170	無	天然記念物等(市町村)
	3	ｸｽﾉｷ	丹原町 北田野	1,140	土居の大グス（樟）	天然記念物等(市町村)
高知県	1	ｸｽﾉｷ	須崎市 須賀神社	1,710	大谷のクスノキ	天然記念物等(国) 自然公園(都道府県立)
	2	ｽｷﾞ	大豊町 八坂神社	1,500	日本一の大杉	天然記念物等(国) 自然公園(都道府県立)
	3	ｶﾂﾗ	大川村 小北川	1,380	無	無
福岡県	1	ｸｽﾉｷ	築城町 下本庄 大楠神社	2,100	大楠	天然記念物等(国)
	2	ｸｽﾉｷ	宇美町 宇美八幡宮	2,000	衣掛の森、湯蓋の森、蚊田の森	天然記念物等(国,都道府県)
	3	ｸｽﾉｷ	朝倉町 恵蘇宿	1,800	隠家の森	天然記念物等(国)
佐賀県	1	ｸｽﾉｷ	武雄市 川古 稲荷大明神	2,100	川古の大楠	天然記念物等(国) その他制度
	2	ｸｽﾉｷ	武雄市 武雄神社 天神神社	2,000	武雄の大楠	天然記念物等(市町村) その他制度
	3	ｸｽﾉｷ	武雄市 塚崎	1,390	塚崎の大楠	天然記念物等(市町村) その他制度
長崎県	1	ｸｽﾉｷ	有明町 松崎	1,300	松崎のオオクス	天然記念物等(都道府県)
	2	ｸｽﾉｷ	長崎市 大徳寺 楠稲荷	1,260	大徳寺の大クス	天然記念物等(都道府県)
	3	ｲﾁｮｳ	上対馬町 琴	1,250	琴のいちょう	天然記念物等(都道府県)
熊本県	1	ｸｽﾉｷ	三角町 上本庄 天神さん	1,490	郡浦の天神クス	天然記念物等(都道府県)
	2	ｸｽﾉｷ	北部町 寂心さん	1,330	寂心さんの樟木	天然記念物等(都道府県)
	3	ｸｽﾉｷ	八代市 八王神社	1,270	有	風致地区・緑地保全地区等
大分県	1	ｸｽﾉｷ	大分市 八幡 柞原八幡宮	1,850	無	天然記念物等(国)
	2	ｲﾁｲｶﾞｼ	清川村	1,200	不明	天然記念物等(市町村) その他制度
	2	ｸｽﾉｷ	中津市 薦神社	1,200	無	無 その他制度
	2	ｲﾁｮｳ	玖珠町 平井	1,200	無	自然公園(国定) その他制度
宮崎県	1	ｽｷﾞ	椎葉村 十根川 十根川神社	1,330	八村杉	天然記念物等(国)
	2	ｸｽﾉｷ	清武町 船引 船引神社	1,320	八幡楠	天然記念物等(国)
	3	ｲﾁｮｳ	高岡町 去川	1,120	去川のイチョウ	天然記念物等(国)
鹿児島県	1	ｸｽﾉｷ	蒲生町 八幡神社	2,422	蒲生の大楠	天然記念物等(国)
	2	ｴﾄﾞﾋｶﾞ	大口市 奥十曽	2,100	無	保安林・学術参考保護等
	3	ｸｽﾉｷ	志布志町 山宮神社	1,710	志布志の大楠	天然記念物等(国)
沖縄県	1	ｶﾞｼﾞｭﾏ	東風平町	2,350	無	無
	2	ｶﾞｼﾞｭﾏ	東風平町	1,990	無	無
	3	ｶﾞｼﾞｭﾏ	東風平町	1,800	有	無

表－２８　　樹種別巨木リスト（上位１０位）　［その１］

樹種	順位	都道府県名	所在地	幹周(cm)	独特の呼称	保護制度指定	備考
アコウ	1	長崎県	奈良尾町 田中 奈良尾神社	1,200	あこう大樹	天然記念物等(国)	ｱｺｳ
	1	沖縄県	石垣市 真女乙御嶽	1,200	有	無	ｵｵﾊﾞｱｺｳ
	3	長崎県	福江市 樫之浦	1,120	樫之浦のアコウ	天然記念物等(都道府県)	ｱｺｳ
	4	鹿児島県	指宿市 信楽寺	1,100	無	無	ｱｺｳ
	5	鹿児島県	屋久町 平内	1,003	無	無	ｱｺｳ
	6	鹿児島県	根占町 浦	1,000	無	天然記念物等(市町村)	ｱｺｳ
	7	高知県	土佐清水	980	無	天然記念物等(国)	ｱｺｳ
						自然公園(国立)	
	8	鹿児島県	十島村 里村の神社	965	無	無	ｱｺｳ
	9	鹿児島県	三島村 竹島	950	無	無	ｱｺｳ
	10	鹿児島県	坊津町 秋目	930	無	その他制度	ｱｺｳ
イチイ	1	岐阜県	荘川村 惣則	795	治郎兵衛のイチイ	天然記念物等(都道府県)	ｲﾁｲ
	2	北海道	士別市 ヲウエベツ	750	祖神の松	その他制度	ｲﾁｲ
	3	長野県	長野市 国見	700	国見のイチイ	天然記念物等(市町村)	ｲﾁｲ
	4	岐阜県	宮村 冷谷	690	宮の大イチイ	保安林・学術参考保護等	ｲﾁｲ
	5	長野県	鬼無里村子安大神	650	無	天然記念物等(都道府県)	ｲﾁｲ
	6	長野県	戸隠村 平出	645	夫婦トガ	無	ｲﾁｲ
	7	長野県	戸隠村 平出	640	夫婦トガ	無	ｲﾁｲ
	8	北海道	芦別市	620	黄金水松	その他制度	ｲﾁｲ
	9	長野県	佐久市 白山神社	610	いぼ神様、むし歯神様	天然記念物等(市町村)	ｲﾁｲ
	10	山梨県	早川町	590	七面山の大イチイ	天然記念物等(都道府県)	ｲﾁｲ
イチョウ	1	青森県	百石町 下谷地	1,600	無	天然記念物等(市町村)	ｲﾁｮｳ
	2	岩手県	久慈市 長泉寺	1,470	大銀杏樹	天然記念物等(国)	ｲﾁｮｳ
	3	青森県	十和田湖	1,400	明神様	天然記念物等(国)	ｲﾁｮｳ
	4	岡山県	奈義町 高円	1,348	菩提寺大イチョウ	天然記念物等(国)	ｲﾁｮｳ
	5	徳島県	上板町 乳保神社	1,342	無	天然記念物等(国)	ｲﾁｮｳ
							株5 計1730cm
	6	長崎県	上対馬町 琴	1,250	琴のいちょう	天然記念物等(都道府県)	ｲﾁｮｳ
	7	千葉県	市川市 八幡神社	1,200	千本公孫樹	天然記念物等(国)	ｲﾁｮｳ
	7	新潟県	五泉市	1,200	乳銀杏	天然記念物等(都道府県)	ｲﾁｮｳ
	7	富山県	氷見市 朝日本町	1,200	上日寺の大イチョウ	天然記念物等(国)	ｲﾁｮｳ
	7	大分県	玖珠町 平井	1,200	無	自然公園(国定) その他制度	ｲﾁｮｳ
エノキ	1	大阪府	忠岡町	910	無	無	ｴﾉｷ
	2	岡山県	有漢町 上有漢	860	無	天然記念物等(都道府県)	ｴﾉｷ
	3	福井県	勝山市	800	松ヶ崎の大エノキ	天然記念物等(市町村)	ｴﾉｷ
	4	島根県	桜江町	760	守神さんの木	無	ｴﾉｷ
	5	福島県	会津坂下 袋下	750	袋原のエノキ	天然記念物等(市町村)	ｴﾉｷ
						その他制度	
	5	鳥取県	会見町	750	無	無	ｴﾉｷ
	7	鳥取県	泊村 筒地	720	筒地の大榎	天然記念物等(市町村)	ｴﾉｷ
	7	熊本県	坂本村 辻	720	無	無	ｴﾉｷ
	9	熊本県	坂本村久多良木神社	700	無	無	ｴﾉｷ
	10	茨城県	結城市 小田林	680	無	無	ｴﾉｷ
カシ	1	大分県	清川村	1,200	不明	天然記念物等(市町村)	ｲﾁｲｶﾞｼ
						その他制度	
	2	熊本県	鹿北町 椎持神社	980	無	天然記念物等(市町村)	ｲﾁｲｶﾞｼ
	3	熊本県	豊野村 大明神	900	大明神のイチイノキ	その他制度	ｲﾁｲｶﾞｼ
	4	熊本県	三加和町 猿懸	853	上十町のイチイガシ	天然記念物等(都道府県)	ｲﾁｲｶﾞｼ
	5	大分県	安心院町 熊野神社	840	無	天然記念物等(市町村)	ｲﾁｲｶﾞｼ
	6	熊本県	御船町 長生	820	長生のイチイガシ	天然記念物等(市町村)	ｲﾁｲｶﾞｼ
	7	大分県	安心院町 山蔵	815	無	天然記念物等(都道府県)	ｲﾁｲｶﾞｼ
						その他制度	
	8	愛知県	足助町 津島神社	800	不明	天然記念物等(市町村)	ｼﾗｶｼ
	8	福岡県	浮羽町 注連原（伏条樫）	800	伏条処木諸	天然記念物等(都道府県)	ｶｼ
	8	熊本県	坂本村 藤本	800	藤本のいちいがし	その他制度	ｲﾁｲｶﾞｼ
	8	熊本県	山江村	800	淡島さんのイチイガシ	天然記念物等(市町村)	ｲﾁｲｶﾞｼ

表－2.8　　樹種別巨木リスト（上位10位）　［その2］

樹種	順位	都道府県名	所在地	幹周(cm)	独特の呼称	保護制度指定	備考
カツラ	1	岩手県	軽米町	1,533	古屋敷の千本桂	天然記念物等(市町村)	ｶﾂﾗ
	2	愛媛県	伊予三島 上猿田	1,500	不明	天然記念物等(都道府県) 保安林・学術参考保護等	ｶﾂﾗ
	3	福井県	大野市 白山神社	1,390	白山神社のカツラ	天然記念物等(都道府県)	ｶﾂﾗ
	4	高知県	大川村 小北川	1,380	無	無	ｶﾂﾗ
	5	新潟県	塩沢町 薬照寺	1,350	薬照寺の大カツラ	天然記念物等(都道府県)	ｶﾂﾗ
	6	鳥取県	河原町 落河内	1,290	落河内のカツラ	天然記念物等(都道府県)	ｶﾂﾗ
	7	兵庫県	篠山町 藤坂	1,200	無	天然記念物等(市町村)	ｶﾂﾗ
	8	鳥取県	江府町 洲河崎後山	1,170	かつらの巨木	天然記念物等(市町村)	ｶﾂﾗ
	8	愛媛県	長浜町	1,170	無	天然記念物等(市町村)	ｶﾂﾗ
	10	滋賀県	多賀町 向之倉	1,160	不明	無	ｶﾂﾗ
カヤ	1	福島県	桑折町 万正寺	870	万正寺の大カヤ	天然記念物等 その他制度	ｶﾔ
	2	栃木県	足利市	820	無	天然記念物等(市町村)	ｶﾔ
	3	群馬県	富士見村	810	横室の大榧	天然記念物等(国)	ｶﾔ
	3	愛知県	名古屋市 名古屋城	810	無	天然記念物等(国)	ｶﾔ
	5	岩手県	大東町 猿沢	780	猿沢のホウキカヤ	天然記念物等(都道府県)	ｶﾔ
	6	福島県	楢葉町 塩貝	770	塩貝の大カヤ	天然記念物等(市町村) その他制度	ｶﾔ
	7	福島県	船引町 上移	740	長法寺のカヤ	天然記念物等(市町村) その他制度	ｶﾔ
	8	兵庫県	養父町	735	建屋のヒダリマキガヤ	天然記念物等(国)	ｶﾔ
	9	宮城県	志波姫町 沼崎（双林寺）	730	双林寺のカヤ	無	ｶﾔ
	9	埼玉県	与野市 鈴谷 妙行寺	730	与野の大カヤ	天然記念物等(国)	ｶﾔ
クスノキ	1	鹿児島県	蒲生町 八幡神社	2,422	蒲生の大楠	天然記念物等(国)	ｸｽﾉｷ
	2	静岡県	熱海市 来の宮神社	2,390	来の宮の大楠	天然記念物等(国)	ｸｽﾉｷ
	3	福岡県	築城町 下本庄 大楠神社	2,100	大楠	天然記念物等(国)	ｸｽﾉｷ
	3	佐賀県	武雄市 川古 稲荷大明神	2,100	川古の大楠	天然記念物等(国) その他制度	ｸｽﾉｷ
	5	福岡県	宇美町 宇美八幡宮	2,000	衣掛の森、湯蓋の森、蚊田の	天然記念物等(国,都道府県)	ｸｽﾉｷ
	5	佐賀県	武雄市 武雄神社 天神神社	2,000	武雄の大楠	天然記念物等(市町村) その他制度	ｸｽﾉｷ
	7	大分県	大分市 八幡 柞原八幡宮	1,850	無	天然記念物等(国)	ｸｽﾉｷ 株2 計2100cm
	8	福岡県	朝倉町 恵蘇宿	1,800	隠家の森	天然記念物等(国)	ｸｽﾉｷ
	9	高知県	須崎市 須賀神社	1,710	大谷のクスノキ	天然記念物等(国) 自然公園(都道府県立)	ｸｽﾉｷ
	9	鹿児島県	志布志町 山宮神社	1,710	志布志の大楠	天然記念物等(国)	ｸｽﾉｷ
ケヤキ	1	福島県	猪苗代町 本町 天子神社	1,540	天子のケヤキ	その他制度	ｹﾔｷ
	2	山梨県	若草町	1,472	三恵の大けやき	天然記念物等(国)	ｹﾔｷ
	3	山形県	東根市	1,260	東根の大ケヤキ	天然記念物等	ｹﾔｷ
	4	福島県	下郷町 中山	1,200	八幡ケヤキ	その他制度	ｹﾔｷ
	5	大阪府	能勢町 野間稲地	1,195	野間の大けやき（蟻無のケヤ	天然記念物等(国)	ｹﾔｷ
	6	山梨県	須玉町 根古屋 根古屋神社	1,190	田木畑木	天然記念物等(国)	ｹﾔｷ
	7	長野県	上田市 古安曽	1,173	大六のケヤキ	無	ｹﾔｷ
	8	福島県	会津若松 高瀬	1,170	高瀬の大ケヤキ	天然記念物等(国) その他制度	ｹﾔｷ
	9	茨城県	小川町 下馬場 鹿島神社	1,160	不明	天然記念物等(市町村) 自然環境保全地域(都道府県)	ｹﾔｷ
	10	新潟県	柏崎市 鵜川神社	1,150	鵜川神社　大ケヤキ	天然記念物等(国)	ｹﾔｷ
サクラ	1	鹿児島県	大口市 奥十曽	2,100	無	保安林・学術参考保護等	ｴﾄﾞﾋｶﾞﾝ
	2	山形県	長井市 中里	1,091	草岡のサクラ	天然記念物等(市町村)	ｴﾄﾞﾋｶﾞﾝ
	3	山梨県	武川村 山高	1,060	山高の神代サクラ	天然記念物等(国)	ｴﾄﾞﾋｶﾞﾝ
	4	岐阜県	根尾村 淡墨の桜	920	有	天然記念物等(国)	ﾋｶﾞﾝｻﾞｸﾗ
	5	山形県	長井市	900	久保桜	天然記念物等(国)	ｴﾄﾞﾋｶﾞﾝ
	5	福島県	柳津町 細入	900	種まきザクラ	その他制度	ｴﾄﾞﾋｶﾞﾝ
	7	山形県	鶴岡市	870	無	都市公園(市町村) その他制度	ｴﾄﾞﾋｶﾞﾝ
	8	福島県	西会津町 下条	860	千歳ザクラ・化けサクラ	その他制度	ｻﾄｻﾞｸﾗ
	9	福島県	川俣町 寺前	858	常泉寺のシダレザクラ	その他制度	ｴﾄﾞﾋｶﾞﾝ 株2 計1390cm
	10	新潟県	両津市 北小浦	830	北小浦の与六郎桜	天然記念物等(市町村)	ﾔﾏｻﾞｸﾗ

表－２８　　樹種別巨木リスト（上位１０位）　［その３］

樹種	順位	都道府県名	所在地	幹周(cm)	独特の呼称	保護制度指定	備考
サワラ	1	福島県	いわき市 沢尻	1,000	沢尻の大ヒノキ	天然記念物等(国) その他制度	ｻﾜﾗ
	2	岐阜県	朝日村 甲 釈迦堂	960	七本サワラ	天然記念物等(都道府県)	ｻﾜﾗ
	3	長野県	伊那市 吹上	800	前平のサワラ	天然記念物等(都道府県)	ｻﾜﾗ
	4	長野県	上村 馬老沢	740	お宮の木	無	ｻﾜﾗ
	5	長野県	三岳村御岳神社若宮	720	無	天然記念物等(市町村)	ｻﾜﾗ
	6	愛知県	足助町 薬師堂	700	不明	天然記念物等(市町村) 自然公園(国定)	ｻﾜﾗ
	7	岩手県	遠野市 大出 早池峰神社	690	無	天然記念物等(都道府県)	ｻﾜﾗ
	8	茨城県	金砂郷村 西金砂神社	651	西金砂のサワラ	天然記念物等(都道府県)	ｻﾜﾗ
	9	長野県	大鹿村 矢立木	610	矢立木	天然記念物等(市町村)	ｻﾜﾗ
	10	長野県	駒ケ根市 南割 円通寺	600	無	無	ｻﾜﾗ
シイ	1	鳥取県	東伯町 宮場 春日神社	1,140	伯者の大椎	天然記念物等(国)	ｽﾀﾞｼﾞｲ
	1	島根県	八雲村 志多備神社	1,140		天然記念物等(市町村)	ｽﾀﾞｼﾞｲ
	3	宮城県	亘理町	1,015	無	天然記念物等(国)	ｼｲﾉｷ
	4	千葉県	八日市場 安久山 稲荷神社	1,000	無	無	ｽﾀﾞｼﾞｲ
	5	茨城県	牛堀町 上戸 神明神社	977	八代の大シイ	天然記念物等(都道府県)	ｽﾀﾞｼﾞｲ
	6	千葉県	君津市 八坂神社	950	賀恵渕のシイ	天然記念物等(市町村)	ｽﾀﾞｼﾞｲ
	6	島根県	佐田町 毛津神社	950	無	無	ｽﾀﾞｼﾞｲ
	8	石川県	中島町 小牧白山神社	906	無	天然記念物等(市町村)	ｽﾀﾞｼﾞｲ
	9	千葉県	勝浦市 名木（寂光寺）	890	上野村の大雄	天然記念物等(都道府県)	ｽﾀﾞｼﾞｲ
	9	島根県	大田市 高原	890	無	無	ｽﾀﾞｼﾞｲ
	9	愛媛県	伊予三島 上長須	890	不明	天然記念物等(都道府県)	ｽﾀﾞｼﾞｲ
スギ	1	鹿児島県	上屋久町 高塚山	1,610	縄文杉	自然公園(国立)	ｽｷﾞ
	2	新潟県	三川村 岩谷	1,595	将軍杉	天然記念物等(国)	ｽｷﾞ
	3	高知県	大豊町 八坂神社	1,500	日本一の大杉	天然記念物等(国) 自然公園(都道府県立)	ｽｷﾞ
	4	千葉県	天津小湊 清澄 清澄寺	1,415	清澄の大スギ、千年杉	天然記念物等	ｽｷﾞ
	5	岐阜県	白鳥町 石徹白	1,400	石徹白大杉	天然記念物等 自然公園(国立)	ｽｷﾞ
	6	長野県	根羽村 月瀬	1,379	月瀬の大杉	天然記念物等(国)	ｽｷﾞ
	7	岐阜県	上矢作町 大船山 大船神社	1,360	弁慶杉	天然記念物等(都道府県) 保安林・学術参考保護等 その他制度	ｽｷﾞ
	8	鹿児島県	屋久町	1,350	紀元杉	自然公園(国立)	ｽｷﾞ
	9	新潟県	糸魚川市 白山社	1,330	杉之当の大スギとシナノ木	天然記念物等(都道府県)	ｽｷﾞ
	9	宮崎県	椎葉村 十根川 十根川神社	1,330	八村杉	天然記念物等(国)	ｽｷﾞ
タブノキ	1	神奈川県	清川村	900	シバノ木	その他制度	ﾀﾌﾞﾉｷ
	2	鹿児島県	大浦町 原	890	無	無	ﾀﾌﾞﾉｷ
	3	千葉県	山田町 山ノ台	857	府馬の大クス	天然記念物等(国)	ﾀﾌﾞﾉｷ
	4	茨城県	波崎町 舎利 神善寺	824	波崎の大タブ	天然記念物等(都道府県)	ﾀﾌﾞﾉｷ
	5	石川県	富来町 大福寺高瓜神社	810	無	天然記念物等(市町村)	ﾀﾌﾞﾉｷ
	6	東京都	奥多摩町 古野附 春日神社	807	古里附イヌグス	天然記念物等(都道府県)	ﾀﾌﾞﾉｷ
	7	静岡県	本川根町 梅地	800	たぶの木	無	ﾀﾌﾞﾉｷ
	8	島根県	三刀屋町 高尾神社	785	無	無	ﾀﾌﾞﾉｷ
	9	石川県	珠洲市 日枝神社	760	無	無	ﾀﾌﾞﾉｷ
	10	鹿児島県	大崎町 仮宿	730	なげどん	無	ﾀﾌﾞﾉｷ
ツガ	1	鹿児島県	屋久町	910	屋久杉ランド	天然記念物等(国) 自然公園(国立) 保安林・学術参考保護等 その他制度	ﾂｶﾞ
	2	鹿児島県	屋久町 安房林道	690	無	自然公園(国立)	ﾂｶﾞ
	3	和歌山県	高野町 摩尼山天然林	673			ﾂｶﾞ
	4	鹿児島県	屋久町 荒川	627	屋久島スギ原始林	天然記念物等(国)自然公園(国立) 保安林・学術参考保護等	ﾂｶﾞ
	5	和歌山県	高野町 摩尼山天然林	620			ﾂｶﾞ
	6	鹿児島県	屋久町 花山歩道	610	屋久島スギ原生林	天然記念物等(国) 自然公園(国立) 自然環境保全地域(国)	ﾂｶﾞ
	7	富山県	平村 天王山	600	無	無	ﾂｶﾞ
	7	奈良県	十津川村	600	無	無	ﾂｶﾞ
	9	鹿児島県	屋久町 淀川小屋東側	590	無	自然公園(国立)	ﾂｶﾞ
	10	熊本県	水上村 市房神社の参道	565	無	自然公園(国定)	ﾂｶﾞ

表－２８　　樹種別巨木リスト（上位１０位）　［その４］

樹種	順位	都道府県名	所在地	幹周(cm)	独特の呼称	保護制度指定	備考
トチノキ	1	石川県	白峰村 太田大道谷	1,300	太田の大栃	天然記念物等(市町村)	ﾄﾁﾉｷ
	2	富山県	利賀村 脇谷	1,189	脇谷のトチノキ	天然記念物等(国)	ﾄﾁﾉｷ
	3	長野県	上村 赤崩沢	1,050	無	無	ﾄﾁﾉｷ
	4	京都府	綾部市 君尾山	1,040	大トチ	保安林・学術参考保護等	ﾄﾁﾉｷ
	5	福井県	今庄町 岩谷	1,000	無	無	ﾄﾁﾉｷ
	6	富山県	利賀村 利賀	960	利賀のトチノキ	天然記念物等(国)	ﾄﾁﾉｷ
	6	兵庫県	美方町 小長辿	960	無	天然記念物等(都道府県)	ﾄﾁﾉｷ
	8	石川県	吉野谷村 雄谷上流部	950	無	自然公園(国立)	ﾄﾁﾉｷ
	9	兵庫県	美方町 新屋	920	無	自然公園(都道府県立)	ﾄﾁﾉｷ
	10	富山県	朝日町 大平	900	踏出しのトチ	保安林・学術参考保護等	ﾄﾁﾉｷ
ニレ	1	神奈川県	海老名市	716	有馬のなんじゃもんじゃ	天然記念物等(都道府県)	ﾊﾙﾆﾚ
	2	岩手県	西根町	670	無	無	ﾊﾙﾆﾚ
	3	北海道	上ノ国町 小森	620	無	無	ﾊﾙﾆﾚ
	4	栃木県	日光市 西ノ湖北西	610	無	自然公園(国立) 保安林・学術参考保護等	ﾊﾙﾆﾚ
	5	北海道	浦幌町 厚内	600	無	無	ﾊﾙﾆﾚ
	6	宮城県	色麻町 上郷	590	無	無	ﾊﾙﾆﾚ
	6	群馬県	妙義町	590	無	自然公園(国定)	ﾊﾙﾆﾚ
	8	岩手県	都南村 法領神社	587	法領のタモ	天然記念物等(市町村)	ﾊﾙﾆﾚ
	9	栃木県	日光市 湯滝周辺	575			ﾊﾙﾆﾚ
	10	北海道	幌延町 １６線沢	570	無	無	ﾊﾙﾆﾚ
	10	愛媛県	大洲市	570	無	天然記念物等(都道府県)	ﾊﾙﾆﾚ
ヒノキ	1	高知県	窪川町 折谷	990	大ヒノキ	無	ﾋﾉｷ
	2	長野県	南木曽町 与川 白山神社	834	無	無	ﾋﾉｷ
	3	愛媛県	美川村 岩屋山	820	無	自然公園(都道府県立) その他制度	ﾋﾉｷ
	4	宮崎県	椎葉村 大久保	800	大久保ヒノキ	天然記念物等(都道府県)	ﾋﾉｷ
	5	岡山県	賀陽町 吉川	770	無	無	ﾋﾉｷ
	6	山梨県	富士吉田	765	無	天然記念物等(都道府県)	ﾋﾉｷ
	7	岐阜県	上矢作町 上村恵那	722	笠木ヒノキ	保安林・学術参考保護等	ﾋﾉｷ
	8	福島県	天栄村 牧ノ内	700	観音堂のヒバ	その他制度	ﾋﾉｷ
	8	茨城県	瓜連町 静神社	700	無	無	ﾋﾉｷ
	8	熊本県	熊本市 歳弥神社	700	無	その他制度	ﾋﾉｷ
ブナ	1	静岡県	函南町 函南原生林	635	函南原生林	自然公園(国立)	ﾌﾞﾅ
	2	大阪府	岸和田市 和泉葛城山	560	和泉葛城山ブナ林	天然記念物等(国)	ﾌﾞﾅ
	3	山形県	村山市 セナ沢	555	無	無	ﾌﾞﾅ
	4	新潟県	佐和田町 真光寺	540	仏峠のブナ大樹	無	ﾌﾞﾅ
	5	長野県	飯山市 鍋倉山	535	無	保安林・学術参考保護等	ﾌﾞﾅ
	6	北海道	上ノ国町 上ノ国	530	無	無	ﾌﾞﾅ
	7	山梨県	塩山市 芦倉沢	515	無	自然公園(国立)	ﾌﾞﾅ
	8	山形県	小国町 本流ササワラ	505	無	無	ﾌﾞﾅ
	9	東京都	桧原村 三頭山	500	無	自然公園(国立) 保安林・学術参考保護等	ﾌﾞﾅ
	9	富山県	大山町 長棟	500	無	無	ﾌﾞﾅ
ホルトノキ	1	静岡県	伊東市 峰 熊野神社	640	無	無	ﾎﾙﾄﾉｷ
	2	宮崎県	綾町 竹野	630	竹野のホルトノキ	天然記念物等(国)	ﾎﾙﾄﾉｷ
	3	静岡県	河津町地先神社	600	不明	無	ﾎﾙﾄﾉｷ
	4	静岡県	熱海市 上野地	590	無	風致地区・緑地保全地区等	ﾎﾙﾄﾉｷ
	5	徳島県	阿南市 北内	582	無	天然記念物等(都道府県)	ﾎﾙﾄﾉｷ
	6	佐賀県	北茂安町 千栗	580			ﾎﾙﾄﾉｷ
	7	静岡県	熱海市 玄蕃屋敷	570	無	天然記念物等(市町村) 風致地区・緑地保全地区等	ﾎﾙﾄﾉｷ
	7	愛媛県	土居町 村山神社	570	村上神社のホルト	天然記念物等(市町村)	ﾎﾙﾄﾉｷ
	9	香川県	引田町 誉田神社	560	無	その他制度	ﾎﾙﾄﾉｷ
	10	静岡県	沼津市 足保	536	無	無	ﾎﾙﾄﾉｷ

表－２８　　樹種別巨木リスト（上位１０位）　［その５］

樹種	順位	都道府県名	所在地	幹周(cm)	独特の呼称	保護制度指定	備考
マツ	1	香川県	志度町 真覚寺	900	岡の松	天然記念物等(都道府県)	ｸﾛﾏﾂ
	2	山形県	最上町 東法田	770	山神様の大松	天然記念物等(市町村)	ｱｶﾏﾂ
	3	山梨県	大月市 浅利	700	浅利の御座松	天然記念物等(市町村)	ｱｶﾏﾂ
	3	香川県	宇多津町 円通寺	700	無	天然記念物等(都道府県)	ｸﾛﾏﾂ
	5	岩手県	大東町 大原	665	無	無	ｱｶﾏﾂ
	6	群馬県	境町 大国神社	660			ｱｶﾏﾂ
	6	新潟県	黒川村 下舘	660	黒川村の傘松	天然記念物等(都道府県)	ｱｶﾏﾂ
	8	鳥取県	日南町 湯河	653	湯河の天狗松	天然記念物等(市町村)	ｱｶﾏﾂ
	9	宮城県	歌津町 払川	650	紅葉ヶ岳の傘松	天然記念物等(市町村)	ｱｶﾏﾂ
	10	青森県	弘前市 弘前公園三の丸	647	無	都市公園(市町村)	ｱｶｸﾛﾏﾂ
ミズナラ	1	長野県	清内路村	940	不明	天然記念物等(都道府県)	ﾐｽﾞﾅﾗ
	2	青森県	脇野沢村 田ノ頭 八幡宮	939		無	ﾐｽﾞﾅﾗ
	3	北海道	名寄市	910	無	保安林・学術参考保護等	ﾐｽﾞﾅﾗ
	4	富山県	利賀村 島地	820	島地宮林	無	ﾐｽﾞﾅﾗ
	5	長野県	木島平村 カヤノ平	770	山の神	無	ﾐｽﾞﾅﾗ
	6	鳥取県	大山町 桝水一ノ沢	730	無	自然公園(国立) 保安林・学術参考保護等	ﾐｽﾞﾅﾗ
	7	長野県	清内路村	690	無	保安林・学術参考保護等	ﾐｽﾞﾅﾗ
	8	岐阜県	神岡町 山田	665	無	天然記念物等(都道府県)	ﾐｽﾞﾅﾗ
	9	鳥取県	八東町 ふる里の森	660			ﾐｽﾞﾅﾗ
	10	栃木県	日光市 千手原	646	無	自然公園(国立) 保安林・学術参考保護等	ﾐｽﾞﾅﾗ
ムクノキ	1	兵庫県	三日月町 下本郷湯浅	990	無	天然記念物等(都道府県)	ﾑｸﾉｷ
	2	三重県	芸濃町 椋本	950	椋本の大ムク	天然記念物等(国)	ﾑｸﾉｷ
	2	岡山県	鏡野町 高山	950	無	天然記念物等(市町村)	ﾑｸﾉｷ
	4	大分県	国見町 上岐部	900	無	無	ﾑｸﾉｷ
	5	愛知県	津島市	870	津島の大ムク	天然記念物等(国)	ﾑｸﾉｷ
	6	奈良県	五条市	850	二見の大ムク	天然記念物等(国)	ﾑｸﾉｷ
	7	大分県	安心院町 寒水	840	無	無	ﾑｸﾉｷ
	8	奈良県	御所市	831	不明	無	ﾑｸﾉｷ
	9	鳥取県	岸本町 岸本神社	830	無	無	ﾑｸﾉｷ
	9	島根県	川本町 木路原	830	無	無	ﾑｸﾉｷ
モミ	1	兵庫県	丹南町 大山宮追手神社	780	無	無	ﾓﾐ
	1	高知県	西土佐村 津賀	780	新玉様のモミ	無	ﾓﾐ
	3	群馬県	中之条町 嶋石	760	無	無	ﾓﾐ
	4	宮崎県	南郷村	690	有	自然環境保全地域(都道府県) 保安林・学術参考保護等	ﾓﾐ
	5	宮崎県	南郷村	660	有	自然環境保全地域(都道府県) 保安林・学術参考保護等	ﾓﾐ
	6	岩手県	大船渡市 宇津野沢	630	無	天然記念物等(市町村)	ﾓﾐ
	7	福井県	大飯町 依居神社	629	無	無 天然記念物等(都道府県)	ﾓﾐ
	8	群馬県	中之条町 伊賀野	626	伊賀野の大木	無	ﾓﾐ
	9	広島県	口和町 湯木	610	湯木のモミ	天然記念物等(都道府県)	ﾓﾐ
	10	青森県	鶴田町 妙堂崎掛元	600	トドロッポ松	天然記念物等(都道府県) その他制度	ﾓﾐ
	10	岩手県	湯田町	600	草井沢利助モミの木	天然記念物等(市町村)	ﾓﾐ
	10	岐阜県	根尾村	600	大河原の大樅	無	ﾓﾐ
	10	広島県	高野町 上湯川	600	無	天然記念物等(都道府県)	ﾓﾐ
	10	鹿児島県	屋久町 淀川小屋～花之江川	600	屋久島スギ原生林	天然記念物等(国) 自然公園(国立)	ﾓﾐ
その他	1	沖縄県	東風平町	2,350	無	無	ｶﾞｼﾞｭﾏﾙ
	2	沖縄県	東風平町	1,990	無	無	ｶﾞｼﾞｭﾏﾙ
	3	沖縄県	東風平町	1,800	有	無	ｶﾞｼﾞｭﾏﾙ
	4	沖縄県	名護市 久志	1,140	久志観音堂のガジマル	天然記念物等(市町村)	ｶﾞｼﾞｭﾏﾙ
	5	沖縄県	東風平町	1,100	無	無	ｶﾞｼﾞｭﾏﾙ
	5	沖縄県	東風平町	1,100	無	無	ｶﾞｼﾞｭﾏﾙ
	7	沖縄県	伊良部町	1,085	ヤスルカジュマル	無	ｶﾞｼﾞｭﾏﾙ
	8	沖縄県	名護市 名護	1,010	ヒンプンガジマル	天然記念物等(都道府県)	ｶﾞｼﾞｭﾏﾙ
	9	兵庫県	上郡町 苔縄上の山	983	無	天然記念物等(都道府県)	ｲﾌﾞｷ
	10	青森県	天間林村 天間館森の上	960	無	無	ﾄﾈﾘｺ

大都市における巨木の賦存状況をみるため、政令指定都市毎の巨木の類型別件数、測定巨木総数を集計した。結果を表－２９に示した。

政令指定都市の中では、東京（２３区）が測定本数1,288本で最も多く、次いで京都市（228本）、仙台市（222本）、福岡市（161本）、札幌市（123本）の順であった。

東京で測定本数が多い理由としては、皇居、浜離宮、新宿御苑など歴史のある大面積の緑地が多いことが考えられる。また、京都市についても、京都御苑、上賀茂神社、仙洞御苑などの大面積の緑地や市内に巨木を有する社寺が多いことがその理由と考えられる。仙台は「杜の都」という名称からもうかがわれるように市内に青葉城址などの大面積の公園等を有していること、札幌市については植物園等の緑地や円山等の自然林に巨木が多いこと、福岡市は市内の社寺に多くの巨木が存在していること等の理由が考えられる。

すなわち、これらの巨木の多い都市の特徴として、歴史のある大面積の緑地を有していることや、市内に社寺が多いことなどがあげられる。

表－２９　　政令指定都市の巨木本数

都市名	単木測定数	樹林		並木		小計		測定巨木総数
	本	件	本数 本	件	本数 本	件	本数 本	本
札幌	16	31	101	2	6	33	107	123
仙台	135	34	59	9	28	43	87	222
東京（23区）	876	122	407	2	5	124	412	1288
川崎	23	0	0	0	0	0	0	23
横浜	21	0	0	0	0	0	0	21
名古屋	62	1	1	0	0	1	1	63
京都	37	73	172	5	19	78	191	228
大阪	26	5	11	0	0	5	11	37
神戸	25	11	31	0	0	11	31	56
広島	16	12	27	0	0	12	27	43
北九州	41	9	20	0	0	9	20	61
福岡	157	2	4	0	0	2	4	161

3.3 巨樹・巨木林と人との関わり

巨木と人との関わりとしては、大きく分けて林材生産・観光などの直接的な利用を通した関わり方と、信仰・故事などの精神的なつながりによる関わり方、及び保護管理等による関わり方とがある。

樹林の直接利用の集計結果によれば、「特に利用していない」が全体の81%を占め、大部分の巨木林が直接的な利用の対象になっていないことが明かとなった。しかし、利用されている巨木林は、観光・レクリエーション・公園として利用されているものが「その他」も含めた利用全体の52%、木材生産などの伐採が22%であり、伐採に関連する利用率は低いものの、かなりの巨木が人知れず伐採されていることがうかがわれる。

また、精神的なつながりについては、信仰・呼称・故事等がいずれについても「無し」が「有り」を大きく上回っており、地域住民と巨木が精神的に結びついているケースはあまり多くないことがわかった。ただし、上記結果は調査対象とした全巨木についての結果であり、幹周１０ｍを超えるような代表的な巨木の場合、人との関わりも深いものも多い。

故事・伝承として具体的にその内容が記述されていたのは1,501件であり全の約３％であった。そのうち、歴史的な人物や事件との係わりに関するものが 707件で最も多く、次いで、ご神木、ご神体等、神としてあがめたり、寺社の境内や山門等の神域にあるものが 259件、災難から逃れる等のご利益があったり願を掛けるものが192件、境界木、一里塚等の目印しや防風林・防砂林等、実際的な目的に利用しているのが103件であった。

巨木と保護制度との関係をみるとその50%が保護制度の適用を受けておらず巨木の保護方策の拡充整備が今後の課題と言える。一方、保護制度の指定を受けた巨木は、単木で20%、樹林及び並木に生育するもので82%であり、後者がなんらかの保護の指定を受けている割合がはるかに高いことがわかった。しかし、保護の指定及び特記事項（具体的保護行為）と巨木の健全度とのクロス集計結果をみると、保護の指定あるいは保護行為が必ずしも健全度を高めているとは言えず、現行の保護策の内容についても検討すべき点があるものと考えられる。

今回調査の結果では、巨木の生育環境として人々の生活域にあっても、小面積でもまとまった自然環境を保持する社叢林が重要な役割を果たしていることが示されているが、このような事実は今後の巨木の保護を考える上で十分考慮がなされるべき点かと思われる。

巨木を単木としてではなく、周辺環境も含めて保全するといった取り組みが必要であり、それは生態系保全といった緑全体の保全・創造が求められている今日的な状況にも合致するものであろう。銘木としての巨木の価値のみならず、緑の保全・創造の核として巨木を位置付けることができれば、また、巨木自体の保護にも有効なものとなろう。

また、巨木の中には人々の関わりの中で育まれてきたものも少なくなく、一方、巨木は生活環境を豊かにする要素として重要な役割を有する点も考慮すれば、今後の保護の方策の検討の上でも地域の人々との関わりを十分に保ったものとすることが必要と考えられる。

ブナ、ミズナラ等の巨木は、そのほとんどが山地の山林に存している。これらは森林内にあること、生活域から離れていることなどから、人里のものと比べ人目に触れ難く、単木としては保護の対象となっていないものが多い。しかし、これらの巨木は、長い間安定した環境を維持してきた森林の中で成長してきたものであり、豊かな森林の指標としての価値が大きいことに注目する必要がある。調査結果においてもこれらの巨木は自然公園等、自然環境が面的に保全の対象となっている区域に存する割合が高くなっている。一方、今回の調査が山間部においては悉皆的なものとなっていないこと、及び保護の対象となっていないものも少なくないことを考慮すれば、残されたブナ、ミズナラ等の巨木を育む多様性のある豊かな森林についてもその保全のための適切な対策を講じていく必要があろう。

今後は巨木の銘木的な価値のみならず、良好な景観の形成、野性動物の生活環境としての価値など、巨木の有する多様な価値を再認識した上で巨木の生育環境全体の保全、改善、創出を図る観点から、既存制度の他、ナショナルトラスト、新たな条例等多様な方策による取り組みを考えていく必要がある。

4.総括

巨樹・巨木林調査結果を全国的な視点から集計・解析した。取りまとめた内容を整理すると、以下のとおりである。

（1）今回の調査で実際に測定され幹周長等のデータが報告された巨木の総数は、単木及び樹林、並木併せて55,798本であった。内、単木は28,800本、巨木林は25,103本、さらに並木1,267本であった。

樹林、並木についてはさらに巨木の本数が推定されており、約68,000本とされている。このことから、わが国の巨木の本数は、約120,000本かそれ以上と推測された。

（2）測定され、報告された巨木のうち、最も数が多かったのは、スギ（13,681本）であり、次いでケヤキ（8,538本）、クスノキ（5,160本）、イチョウ（4,318本）、及びスダジイ（3,286本）であった。この他に、タブノキ、ムクノキ、モミ、エノキ、クロマツ等の樹種が多かった。

（3）巨木の大きさは胸高直径が２m以下のものが50,062本で全体の90％を占めていた。２～３mの巨木は2,346本、３～４mのもの337本、４～５mのもの48本、及び５m以上のもの19本であった（ガジュマルを含む）。

（4）巨木の周囲の状況は、樹林が最も多く、そのうちでも社叢などの小面積の樹林が多いことが明らかになった。所有者で最も多いのが寺社であることから、今回報告のあった巨木の生息環境として社叢林の果たしている役割が大きいものと思われる。

（5）巨木に生息する特記すべき鳥類あるいは獣類の生息状況として、生息が有りと報告されたものはいずれも全体の3％であった。

（6）巨木の欠損の程度は、単木では欠損有りと報告されたのは22％で、約50％は欠損が無いとされている。一方、樹林、並木では全体の6割が無回答であるものの、欠損有りが15％、無しが23％と、欠損無しに対する有りの比率が高かった。

また、健全度については、巨木の77％が健全度良と判断されているものの、不良のものも17％と少なくない。樹種別にみると、サクラが特に健全度不良の割合が41％と高い値を示している。他に、イチイ、カシ、カツラ、サワラ、シイ、タブノキ、ニレ、ブナ、ミズナラ、ムクノキ等も健全度不良の割合が20％近くかそれ以上の値を示している。

（7）信仰対象等となっている巨木は約30％であった。樹種別にみると、ブナ、ミズナラはほとんど信仰等の対象となっていない点が目立っている。

また、独特の呼称・名称の有る巨木は全体で13％程度であったが、特にイチイ、サクラ、マツでは30～40％が呼称・名称が有るとされている。

巨木にまつわる故事・伝承が有ると報告されたものは全体の6％程度で、大半の巨木については故事・伝承等はあまり無いようである。

巨木の視認性について、多くの巨木（90％）はかなり目立つとされている。

巨木の直接利用がされているのは全体の8％で、65％の巨木については直接利用はされていない。

（8）巨木の保護制度指定の状況は、指定無しのものが約50%、有るものが約30%となっており、その保護方策の拡充整備が今後の課題と言える。指定されている保護制度の内容としては、天然記念物等の指定が最も多かった。

胸高直径別に保護制度指定の有無をみると、まず、樹林、並木では保護制度指定の割合は直径に関わらず高いといえる。一方、単木では直径２ｍを境として、２ｍ以下の単木で大半が保護制度等の指定が無いのに比べ、２ｍを超えるものについては保護制度指定の割合が高くなることが明らかになった。

樹種別にみると、イチイ、カヤ、サクラは天然記念物の指定が、ブナ、ミズナラでは自然公園としての指定が多い。

（9）巨木の健全度と周囲の状況との関連性について検討した結果、周囲の状況が道路の場合にやや健全度が悪くなることがうかがわれた。また、健全度と保護制度指定の有無との関係について検討したが、天然記念物あるいは自然環境保全地域の指定の場合に健全度がやや悪い傾向がうかがわれたが、十分明らかであるとはいえない。

また、信仰対象の有無と健全度については禁忌（タブー）有りとされている場合にやや健全度が悪い傾向がうかがわれた。

（１０）巨木を取り巻く環境特性を整理し、樹種によって類型化すると以下のとおりである。

人里主体型の樹種：アコウ、イチョウ、エノキ、カヤ、クスノキ、ケヤキ、シイ、ムクノキなど

人里～山地主体型：イチイ、サクラ、サワラ、ニレ、マツなど

このうち、樹林主体型：カシ、カツラ、スギ、ヒノキ、タブノキ、ホルトノキ、モミなど

人里主体型あるいは人里～山地主体型の樹種のうち、シイ、カシ、スギ、ヒノキ、ホルトノキなどは、社叢林等に生育している割合が高い。

山地主体型の樹種：ツガ、トチノキ、ブナ、ミズナラなど

（１１）巨木の全国的な分布を、特に幹周の大きなものについてみると、全国１位は鹿児島県蒲生町のクスノキで幹周24.2m（胸高直径7.7m）であった。また、都道府県別に上位３位までの樹種をみると、上位３位に出現する樹種は限られており、クスノキ、スギ、ケヤキ、イチョウが代表的な樹種であった。

樹種別に上位１０位までを整理した結果、各樹種で上位１０位までの巨木を多く有する県は、鹿児島県（19本）で、次いで、長野県（18本）、福島県（12本）、熊本県（10本）などであった。

また、大都市（政令指定都市）で巨木の本数が多かったのは、東京都（23区）の1,288本で、次いで京都市（228本）、仙台市（222本）、福岡市（161本）、札幌市（123本）などであった。

（１２）巨木と人との関わりについて、故事・伝承について報告のあった1,501件について整理した結果、歴史的な人物や事件のいわれを伝えるものが707件と最も多く、次いで信仰、宗教的ないわれを伝えるもの259件などであった。

以上の結果を踏まえ、わが国の巨樹・巨木林に焦点をあてた自然環境保全施策のあり方について考えると、次のような課題があげられる。

（1）今回調査の結果では、巨木の生育環境として人々の生活域にあっても、小面積でもまとまった自然環境を保持する社叢林が重要な役割を果たしていることが示されているが、このような事実は今後の巨木の保護を考える上で十分考慮がなされるべき点かと思われる。

巨木を単木としてではなく、周辺環境も含めて保全するといった取り組みが必要であり、それは生態系保全といった緑全体の保全・創造が求められている今日的な状況にも合致するものであろう。銘木としての巨木の価値のみならず、緑の保全・創造の核として巨木を位置付けることができれば、また、巨木自体の保護にも有効なものとなろう。

また、巨木の中には人々の関わりの中で育まれてきたものも少なくなく、一方、巨木は生活環境を豊かにする要素として重要な役割を有する点も考慮すれば、今後の保護の方策の検討の上でも地域の人々との関わりを十分に保ったものとすることが必要と考えられる。

（2）ブナ、ミズナラ等の巨木は、そのほとんどが山地の山林に存している。これらは森林内にあること、生活域から離れていることなどから、人里のものと比べ人目に触れ難く、単木としては保護の対象となっていないものが多い。しかし、これらの巨木は、長い間安定した環境を維持してきた森林の中で成長してきたものであり、豊かな森林の指標としての価値が大きいことに注目する必要がある。調査結果においてもこれらの巨木は自然公園等、自然環境が面的に保全の対象となっている区域に存する割合が高くなっている。一方、今回の調査が山間部においては悉皆的なものとなっていないこと、及び保護の対象となっていないものも少なくないことを考慮すれば、残されたブナ、ミズナラ等の巨木を育む多様性のある豊かな森林についてもその保全のための適切な対策を講じていく必要があろう。

（3）今後は巨木の銘木的な価値のみならず、良好な景観の形成、野性動物の生活環境としての価値など、巨木の有する多様な価値を再認識した上で巨木の生育環境全体の保全、改善、創出を図る観点から、既存制度の他、ナショナルトラスト、新たな条例等多様な方策による取り組みを考えていく必要がある。

環境庁委託調査

第４回自然環境保全基礎調査
巨樹・巨木林調査
（概要版）

平成２年３月

調査受託者　　千代田デイムス・アンド・ムーア株式会社
東京都大田区蒲田５丁目３８番３号